

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ
組成分析調査及び計量調査報告書
(令和8年度版)

令和8年8月

世 田 谷 区

目次

第1部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書	- 1 -
第1章 調査目的と概要	- 3 -
1 調査目的	- 3 -
2 家庭ごみ組成分析調査概要	- 3 -
(1) 調査対象	- 3 -
(2) 調査期間	- 5 -
(3) 調査方法	- 5 -
(4) 分類	- 5 -
(5) 留意事項	- 7 -
3 家庭ごみ計量調査概要	- 8 -
(1) 調査方法	- 8 -
(2) 調査対象地区と日程	- 8 -
(3) 調査対象世帯数	- 9 -
第2章 家庭ごみ組成分析調査結果	- 10 -
1 全体	- 10 -
(1) 可燃ごみ	- 10 -
(2) 不燃ごみ	- 12 -
2 住居形態別	- 14 -
(1) 可燃ごみ	- 14 -
(2) 不燃ごみ	- 15 -
3 過去の調査結果との比較	- 16 -
(1) 可燃ごみ	- 16 -
(2) 不燃ごみ	- 18 -
4 その他調査結果	- 20 -
(1) 可燃ごみの食品ロス	- 20 -
(2) プラスチック	- 21 -
(3) 小型家電・充電式電池	- 22 -
(4) 排出禁止物等の個数	- 23 -
(5) 外袋の形状別の個数及び割合	- 24 -
(6) ごみ袋1袋あたりの重量	- 25 -
第3章 家庭ごみ計量調査結果	- 26 -
(1) 可燃ごみの排出原単位	- 26 -

第2部 事業系ごみ組成分析調査報告書	- 27 -
第1章 調査目的と概要	- 29 -
1 調査目的	- 29 -
2 調査概要	- 29 -
(1) 調査対象	- 29 -
(2) 調査期間	- 30 -
(3) 調査方法	- 30 -
(4) 分類	- 31 -
(5) 留意事項	- 33 -
第2章 事業系可燃ごみ組成分析調査結果	- 34 -
1 全体	- 34 -
2 属性別調査結果	- 36 -
(1) 調査対象地区別	- 36 -
(2) 業種別	- 38 -
3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況	- 41 -
(1) 貼付状況	- 41 -
(2) 容積貼付率	- 42 -
(3) 45 リットルあたりの重量	- 43 -
4 その他調査結果	- 44 -
(1) 食品ロス	- 44 -
(2) プラスチック	- 45 -
(3) 小型家電・充電式電池	- 46 -
(4) 排出禁止物等の個数	- 46 -
第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計	- 47 -
1 排出原単位の推計	- 49 -
(1) 世帯人数等別人口推計	- 49 -
(2) 排出原単位の推計	- 50 -
2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計	- 51 -
(1) 世田谷区の区収集ごみ量	- 51 -
(2) 不燃ごみ	- 51 -
(3) 家庭可燃ごみ量の推計（補正前）	- 51 -
(4) 事業系可燃ごみ量の推計（補正前）	- 52 -
(5) 実績値による補正	- 52 -
3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計	- 53 -
(1) 家庭可燃ごみ	- 53 -
(2) 事業系可燃ごみ	- 54 -
(3) 不燃ごみ	- 55 -
(4) 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量	- 56 -

第 1 部 家庭ごみ組成分析調査及び計量調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、①家庭から排出されるごみの組成と分別状況、②1人1日あたりの可燃ごみ量（以下「排出原単位」という）を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 家庭ごみ組成分析調査概要

(1)調査対象

本調査は、家庭ごみを対象とすることから、事業系ごみが可能な限り混入しないような集積所を選定したうえで、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや明らかに事業系ごみと判断されるものは調査対象から除外して実施した。

調査対象とした集積所を表1.2-1に示す。区内8調査地区から、住居形態（一戸建て、アパート等混在、マンション）ごとに集積所を抽出し、可燃ごみ及び不燃ごみを調査した。

調査実施に伴い収集したサンプルの重量は、可燃ごみが1,271.22kg、不燃ごみが489.54kgである。

表 1.2-1 調査対象

単位：kg					
分別区分	地区	一戸建て	アパート等混在	マンション	全体
可燃ごみ	下馬6丁目	41.10	18.51	47.43	107.04
	池尻2丁目	64.59	66.49	44.58	175.66
	松原1丁目	17.30	14.65	21.87	53.82
	駒沢4丁目	138.32	36.48	22.35	197.15
	新町1丁目	93.62	43.25	112.07	248.94
	船橋2・4丁目	75.72	56.04	68.93	200.69
	千歳台2・3丁目	87.16	30.46	31.30	148.92
	八幡山3丁目	53.18	41.23	44.59	139.00
	全体	570.99	307.11	393.12	1,271.22
不燃ごみ	下馬6丁目	21.56	24.25	24.89	70.70
	池尻2丁目	18.21	25.10	19.39	62.70
	松原1丁目	9.59	9.18	8.00	26.77
	駒沢4丁目	45.24	6.30	14.63	66.17
	新町1丁目	39.76	6.73	20.02	66.51
	船橋2・4丁目	48.51	7.85	19.20	75.56
	千歳台2・3丁目	16.84	19.86	12.04	48.74
	八幡山3丁目	33.38	8.73	30.28	72.39
	全体	233.09	108.00	148.45	489.54

世田谷区全図

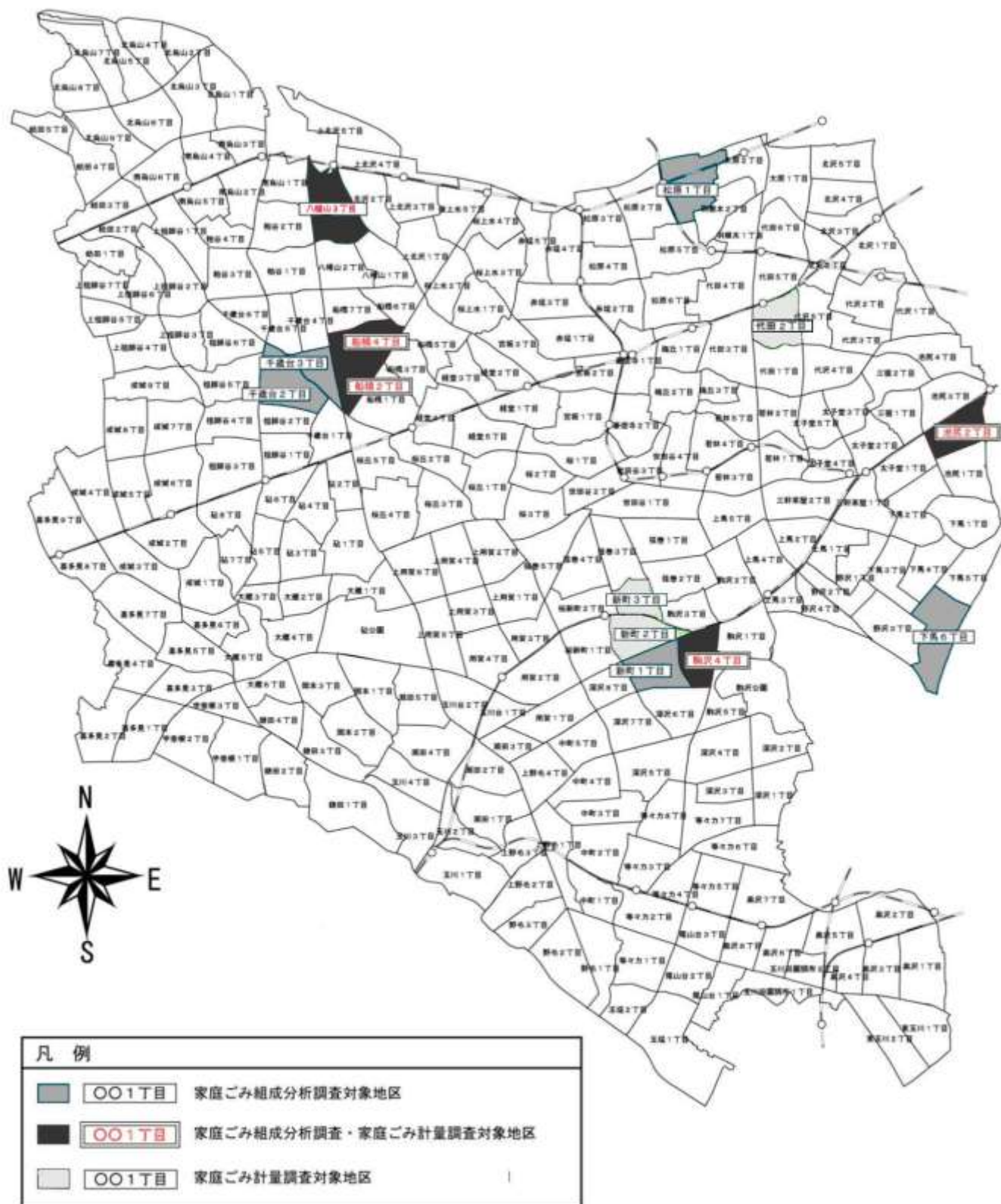


図 1.2-1 調査対象地区

(2)調査期間

調査期間を表 1.2-2 に示す。

表 1.2-2 調査期間

日程	可燃ごみ	不燃ごみ
5月25日(月)	下馬6丁目	千歳台2・3丁目
5月26日(火)	駒沢4丁目	池尻2丁目
5月27日(水)	船橋2・4丁目	駒沢4丁目
		新町1丁目
5月28日(木)	八幡山3丁目	松原1丁目
5月29日(金)	松原1丁目	—
6月1日(月)	池尻2丁目	船橋2・4丁目
6月2日(火)	新町1丁目	下馬6丁目
		八幡山3丁目
6月3日(水)	千歳台2・3丁目	—

(3)調査方法

調査対象集積所から可燃ごみ・不燃ごみをサンプルとして収集し、袋の形状と重さ、品目ごとの重量等を測定した。なお、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-3 に示す。大分類 7 種類、中分類 25 種類、小分類 78 種類とした。

大分類の可燃系資源と不燃系資源は、世田谷区の資源分別回収、集団回収、拠点回収により現在資源化するルートがある品目である。蛍光管、拠点回収対象外の小型家電・充電式電池等一部の不燃ごみについては、資源化ルートがあるが、分別回収ではなく収集後に区が選別作業を行っているため、不燃系資源には含まない。

表 1.2-3(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	読んだだけでごみに出されたもの
		折込広告	新聞の折込広告
		雑誌・本	
		段ボール	
		紙パック	内側が白く、500ミリメートル以上で「紙パック」マークがついたもの
		包装紙	
		紙袋	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
		箱類	
		ＯＡ用紙	
		その他紙類（リサイクル可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
布 類		衣類、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル	
ペットボトル		飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの	
プラスチック	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの	
	白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの	
	色・柄付き発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの	
	食品用透明プラスチック容器	生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器	
不燃系資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	ペットフード含む
		スチール缶（飲食用）	ペットフード含む
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん
		ワンウェイびん（無色）	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん
		ワンウェイびん（茶色）	
	ワンウェイびん（その他）		
拠点回収対象小型家電	小型家電（充電式電池内蔵）	携帯電話、スマートフォン、タブレット端末	
	小型家電（充電式電池非内蔵）	電話機、ACアダプター・コード類	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品
		食べ残し	
		調理くず	
	紙類	新聞（汚れたもの）	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの
		紙パック（アルミ付）	内側が銀色の紙パック
		容器包装紙類（リサイクル不可）	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの
		シュレッド紙	
		その他紙類（リサイクル不可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの（写真、感熱紙、カーボン紙）
	木・草類		庭木・落ち葉・草、生花
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル
		レジ袋	
		発泡スチロール	
		カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器
		フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装
		アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの
		チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉
		その他の容器包装プラスチック	緩衝材、ネット、びんのふた

表 1.2-3(2) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃物	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	飲食店等のカトラリー、クリーニング店のハンガー・衣類用袋
		製品プラスチック（軟質）	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック（硬質）	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック（複合品）	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類	ゴム手袋、自転車タイヤ・チューブ、輪ゴム
		皮革類	革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
	その他可燃物	紙おむつ	
		その他可燃物	ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		スチール缶（その他）	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、中身の入ったエアゾール缶、中身の入ったカセットボンベ
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品		ガラス製品、割れたびん、汚れたびん
	陶磁器		
	小型家電・充電式電池	充電式電池	リチウムイオン電池などの充電式の電池
		小型家電（充電式電池内蔵）	充電式の電池が内蔵された小型家電
		小型家電（充電式電池非内蔵）	充電式の電池が内蔵されていない小型家電
	傘		
	蛍光管		
	電球		
	その他不燃物		
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	ボタン型の電池
		水銀体温計	
		水銀血圧計	
		薬品類（農薬・劇薬）	
		注射器・針	
		石油類	
		ペンキ等の塗料	
		バッテリー	
		石	
		土・砂	
		ブロック・レンガ	
		その他	粗大ごみ
外袋		プラスチック袋	ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋
		レジ袋	ごみ袋として使われたレジ袋
		紙袋	ごみ袋として使われた紙袋

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

3 家庭ごみ計量調査概要

(1)調査方法

可燃ごみの排出原単位を把握するため、調査対象地区の世帯に対して、世帯人数と何日分のごみかを記載するシールを配布した。ごみの排出時間にあわせて調査員を資源・ごみ集積所に配置し、排出されたごみに貼付されたシールの情報を転記し、その場で重量を測定した。

1人世帯の場合は年齢によって排出原単位が異なると考えられるため、30歳未満と30歳以上に分類し、調査を実施した。

各世帯から排出された可燃ごみの重量を、世帯人数と日数（何日分のごみか）で除して、世帯ごとの排出原単位を算定した上で、世帯人数等別のごみの排出原単位を算定した。

なお、不燃ごみは、収集日によって排出量にばらつきが多く、1収集日だけで統計的な数値の根拠とすることは難しいとの判断から、不燃ごみの排出原単位の調査は行わなかった。

(2)調査対象地区と日程

調査対象地区と日程を表 1.3-1 に示す。池尻、駒沢、船橋、代田、新町、八幡山の6地区で実施した。

表 1.3-1 調査対象地区と日程

日程	調査対象地区
4月16日(木)	八幡山
4月17日(金)	駒沢
4月18日(土)	船橋
4月20日(月)	池尻
4月21日(火)	代田
4月22日(水)	新町

(3)調査対象世帯数

調査対象世帯数を表 1.3-2 に示す。調査対象世帯数は、1,107 世帯である。

表 1.3-2 調査対象世帯数

単位：世帯

	池尻	駒沢	船橋	代田	新町	八幡山	全体
1人世帯・30歳未満	2	43	52	1	1	30	129
1人世帯・30歳以上	44	47	24	35	39	44	233
2人世帯	58	59	50	59	73	50	349
3人世帯	28	35	43	42	52	26	226
4人以上世帯	21	29	27	31	45	17	170
全体	153	213	196	168	210	167	1,107

第2章 家庭ごみ組成分析調査結果

1 全体

(1)可燃ごみ

可燃ごみの組成を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 16.6%、不燃系資源が 0.2%で、資源が合計 16.8%である。その他、可燃物が 80.5%、外袋が 1.1%、排出禁止物が 1.1%、不燃物が 0.5%の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 26.7%、次いで、その他可燃物が 24.9%、容器包装プラスチックが 12.9%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 4.7%、食べ残しが 2.5%で、合計 7.2%が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が最も多く 10.3%、次いで、布類が 5.5%などの順である。紙類の小分類では、その他紙類（リサイクル可）が最も多く 4.1%、次いで、箱類が 2.3%などの順である。

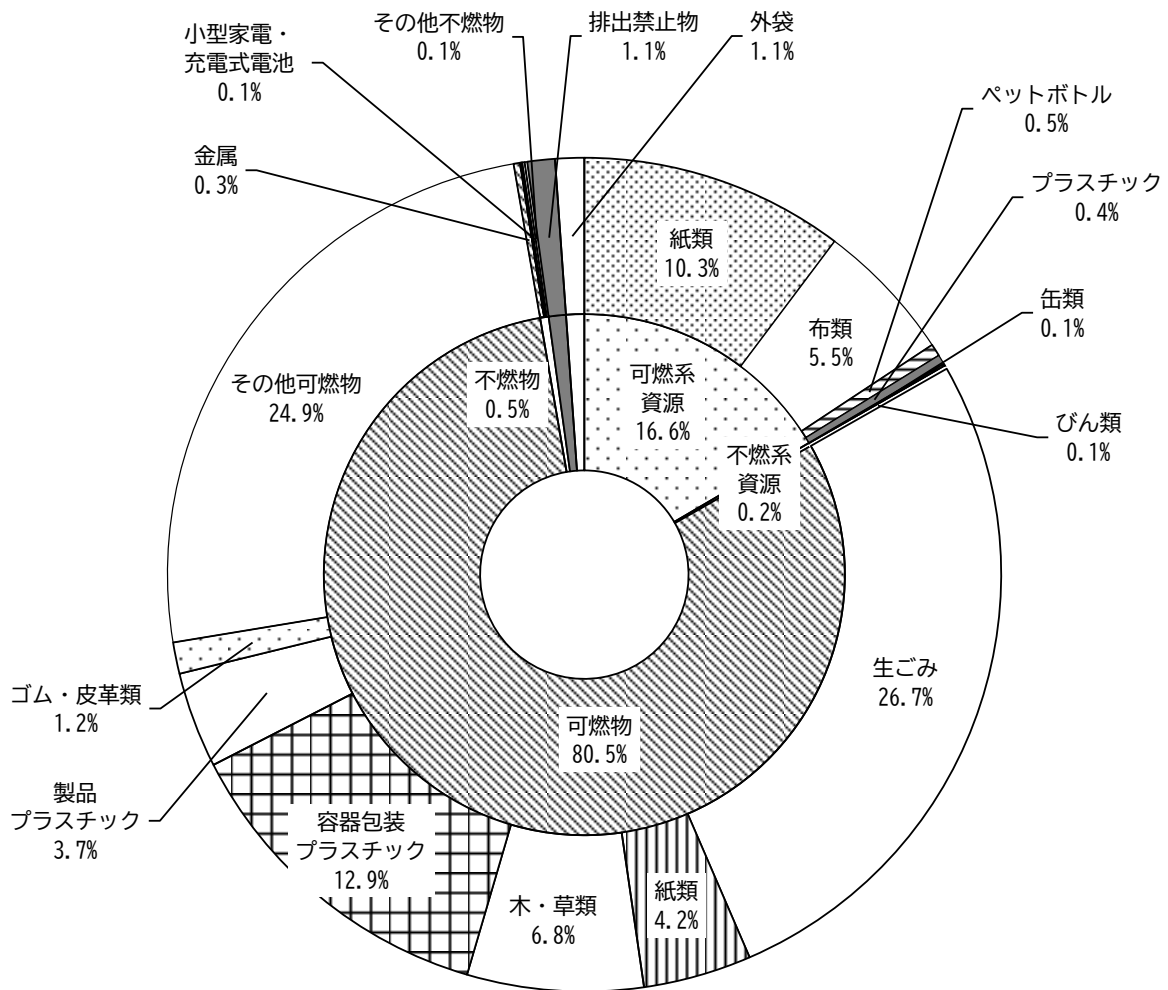


図 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果

表 2.1-1 可燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系 資源	紙類	新聞（きれいなもの）	1.85	0.1%
		折込広告	0.14	0.0%
		雑誌・本	14.15	1.1%
		段ボール	8.55	0.7%
		紙バック	7.34	0.6%
		包装紙	0.61	0.0%
		紙袋	11.95	0.9%
		箱類	29.48	2.3%
		OA用紙	3.75	0.3%
		その他紙類（リサイクル可）	52.55	4.1%
	布 類	69.31	5.5%	
	ペットボトル	6.10	0.5%	
	プラスチック	ペットボトルキャップ	1.68	0.1%
白色発泡トレイ		1.25	0.1%	
色・柄付き発泡トレイ		1.62	0.1%	
食品用透明プラスチック容器		0.17	0.0%	
不燃系 資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	0.34	0.0%
		スチール缶（飲食用）	0.62	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	1.00	0.1%
		ワンウェイびん(茶色)	0.39	0.0%
		ワンウェイびん(その他)	0.14	0.0%
拠点回収対象小型家電	小型家電（充電式電池内蔵）	0.00	0.0%	
	小型家電（充電式電池非内蔵）	0.28	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	60.01	4.7%
		食べ残し	32.31	2.5%
		調理くず	247.51	19.5%
	紙類	新聞（汚れたもの）	6.33	0.5%
		紙バック（アルミ付）	5.66	0.4%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	20.30	1.6%
		シュレッド紙	0.61	0.0%
		その他紙類（リサイクル不可）	20.51	1.6%
	木・草類	86.84	6.8%	
	容器包装プラスチック	ペットボトル以外のボトル	16.95	1.3%
		レジ袋	9.78	0.8%
		発泡スチロール	1.64	0.1%
		カップ・バック	55.70	4.4%
		フィルム	52.13	4.1%
		アルミ蒸着	18.79	1.5%
		チューブ	2.07	0.2%
		その他の容器包装プラスチック	7.12	0.6%
	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	1.42	0.1%
		製品プラスチック（軟質）	20.72	1.6%
		製品プラスチック（硬質）	18.81	1.5%
		製品プラスチック（複合品）	6.38	0.5%
	ゴム・皮革類	ゴム類	8.31	0.7%
		皮革類	7.15	0.6%
	その他可燃物	紙おむつ	48.73	3.8%
		その他可燃物	267.63	21.1%
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	0.00	0.0%
		スチール缶（その他）	0.00	0.0%
		缶類以外の金属類	3.19	0.3%
	乾電池	筒型乾電池	0.20	0.0%
		コイン型電池	0.01	0.0%
	ガラス製品		0.54	0.0%
	陶磁器		0.34	0.0%
	小型家電・充電式電池	充電式電池	0.00	0.0%
		小型家電（充電式電池内蔵）	0.22	0.0%
		小型家電（充電式電池非内蔵）	1.10	0.1%
	傘		0.00	0.0%
	蛍光管		0.00	0.0%
	電球		0.00	0.0%
	その他不燃物		1.12	0.1%

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物	排出禁止物	その他電池（ボタン電池等）	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.01	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.02	0.0%
		土・砂	13.51	1.1%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	0.00	0.0%
外袋	外袋	プラスチック袋	10.34	0.8%
		レジ袋	3.94	0.3%
		紙袋	0.00	0.0%
合計			1,271.22	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合	
可燃系 資源	紙類	130.37	10.3%	
	布 類	69.31	5.5%	
	ペットボトル	6.10	0.5%	
	プラスチック	4.72	0.4%	
不燃系 資源	缶類	0.96	0.1%	
	びん類	1.53	0.1%	
可燃物	拠点回収対象小型家電	0.28	0.0%	
	生ごみ	339.83	26.7%	
	紙類	53.41	4.2%	
	木・草類	86.84	6.8%	
	容器包装プラスチック	164.18	12.9%	
	製品プラスチック	47.33	3.7%	
	ゴム・皮革類	15.46	1.2%	
	その他可燃物	316.36	24.9%	
	不燃物	金属	3.19	0.3%
		乾電池	0.21	0.0%
ガラス製品		0.54	0.0%	
陶磁器		0.34	0.0%	
小型家電・充電式電池		1.32	0.1%	
傘		0.00	0.0%	
蛍光管		0.00	0.0%	
電球		0.00	0.0%	
その他不燃物	1.12	0.1%		
排出禁止物		13.54	1.1%	
外袋		14.28	1.1%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	210.50	16.6%
不燃系資源	2.77	0.2%
可燃物	1,023.41	80.5%
不燃物	6.72	0.5%
排出禁止物	13.54	1.1%
外袋	14.28	1.1%

(2)不燃ごみ

不燃ごみの組成を図 2.1-2 及び表 2.1-2 に示す。

大分類では、不燃系資源が 6.5%、可燃系資源が 0.4%で、資源が合計 6.9%である。その他、不燃物が 85.1%、可燃物が 7.0%、外袋が 0.8%、排出禁止物が 0.2%の順である。

不燃物の中分類では、金属が最も多く 27.1%、次いで、陶磁器が 19.9%、小型家電・充電式電池が 13.2%などの順である。

可燃物の中分類では、製品プラスチックが最も多く 3.5%で、容器包装プラスチック 0.9%と合わせると、4.4%がプラスチックである。

不燃系資源の中分類では、びん類が最も多く 3.1%である。

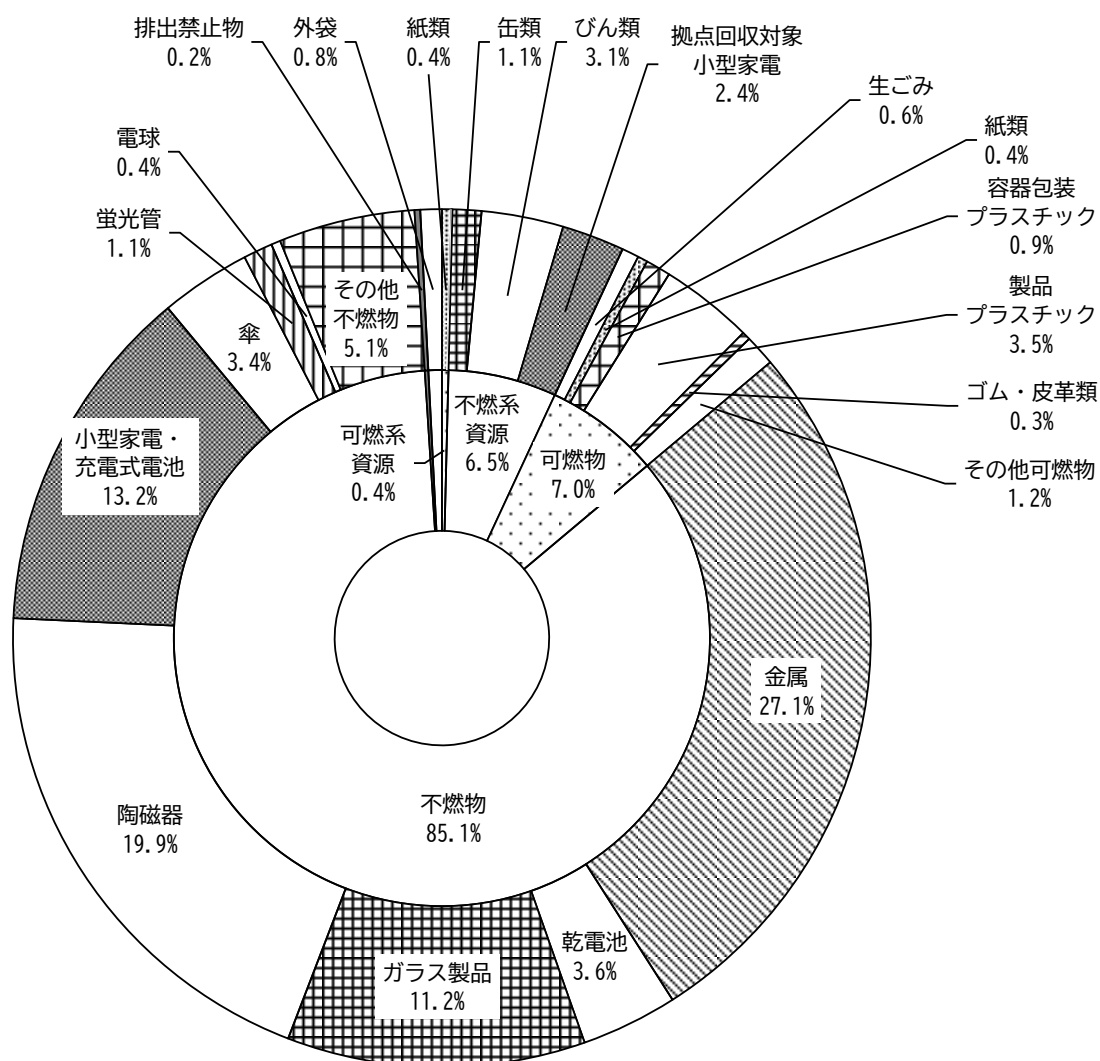


図 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果

表 2.1-2 不燃ごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系 資源	紙類	新聞（きれいなもの）	0.00	0.0%
		折込広告	0.00	0.0%
		雑誌・本	0.24	0.0%
		段ボール	0.12	0.0%
		紙バック	0.00	0.0%
		包装紙	0.00	0.0%
		紙袋	0.52	0.1%
		箱類	0.57	0.1%
		OA用紙	0.00	0.0%
		その他紙類（リサイクル可）	0.28	0.1%
	布 類	0.00	0.0%	
	ペットボトル		0.20	0.0%
	プラスチッ ク	ペットボトルキャップ	0.00	0.0%
		白色発泡トレイ	0.00	0.0%
		色・柄付き発泡トレイ	0.00	0.0%
食品用透明プラスチック容器		0.00	0.0%	
不燃系 資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	0.48	0.1%
		スチール缶（飲食用）	4.82	1.0%
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	10.04	2.1%
		ワンウェイびん(茶色)	3.02	0.6%
		ワンウェイびん(その他)	2.05	0.4%
	拠点回収対 象小型家電	小型家電（充電式電池内蔵）	3.86	0.8%
小型家電（充電式電池非内蔵）		7.69	1.6%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	3.11	0.6%
		食べ残し	0.00	0.0%
		調理くず	0.05	0.0%
	紙類	新聞（汚れたもの）	0.65	0.1%
		紙バック（アルミ付）	0.00	0.0%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.00	0.0%
		シュレッド紙	0.00	0.0%
		その他紙類（リサイクル不可）	1.20	0.2%
	木・草類		0.00	0.0%
	容器包装プ ラスチック	ペットボトル以外のボトル	2.15	0.4%
		レジ袋	0.39	0.1%
		発泡スチロール	0.10	0.0%
		カップ・パック	0.03	0.0%
		フィルム	0.58	0.1%
		アルミ蒸着	0.02	0.0%
		チューブ	0.01	0.0%
		その他の容器包装プラスチック	1.30	0.3%
	製品プラス チック	特定プラスチック使用製品	0.02	0.0%
		製品プラスチック（軟質）	0.67	0.1%
		製品プラスチック（硬質）	5.89	1.2%
製品プラスチック（複合品）		10.64	2.2%	
ゴム・皮革 類	ゴム類	0.01	0.0%	
	皮革類	1.51	0.3%	
その他可燃 物	紙おむつ	0.04	0.0%	
	その他可燃物	5.70	1.2%	
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	6.01	1.2%
		スチール缶（その他）	13.91	2.8%
		缶類以外の金属類	112.65	23.0%
	乾電池	筒型乾電池	17.67	3.6%
		コイン型電池	0.14	0.0%
	ガラス製品		55.00	11.2%
	陶磁器		97.45	19.9%
	小型家電・ 充電式電池	充電式電池	0.82	0.2%
		小型家電（充電式電池内蔵）	11.74	2.4%
		小型家電（充電式電池非内蔵）	52.19	10.7%
	傘		16.76	3.4%
	蛍光管		5.39	1.1%
	電球		1.72	0.4%
	その他不燃物		25.14	5.1%

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	1.04	0.2%
		土・砂	0.00	0.0%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	0.00	0.0%
外袋		プラスチック袋	0.84	0.2%
		レジ袋	1.65	0.3%
		紙袋	1.46	0.3%
合計			489.54	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
可燃系 資源	紙類	1.73	0.4%
	布類	0.00	0.0%
	ペットボトル	0.20	0.0%
	プラスチック	0.00	0.0%
不燃系 資源	缶類	5.30	1.1%
	びん類	15.11	3.1%
	拠点回収対象小型家電	11.55	2.4%
	生ごみ	3.16	0.6%
可燃物	紙類	1.85	0.4%
	木・草類	0.00	0.0%
	容器包装プラスチック	4.58	0.9%
	製品プラスチック	17.22	3.5%
	ゴム・皮革類	1.52	0.3%
	その他可燃物	5.74	1.2%
	金属	132.57	27.1%
	乾電池	17.81	3.6%
不燃物	ガラス製品	55.00	11.2%
	陶磁器	97.45	19.9%
	小型家電・充電式電池	64.75	13.2%
	傘	16.76	3.4%
	蛍光管	5.39	1.1%
	電球	1.72	0.4%
	その他不燃物	25.14	5.1%
	排出禁止物	1.04	0.2%
外袋		3.95	0.8%

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	1.93	0.4%
不燃系資源	31.96	6.5%
可燃物	34.07	7.0%
不燃物	416.59	85.1%
排出禁止物	1.04	0.2%
外袋	3.95	0.8%

2 住居形態別

(1)可燃ごみ

可燃ごみの住居形態別の組成を図 2.2-1 に示す。

住居形態別の可燃物の割合は、アパート等混在が最も高く 81.7%、次いで、マンションが 80.3%、一戸建てが 80.0%の順である。

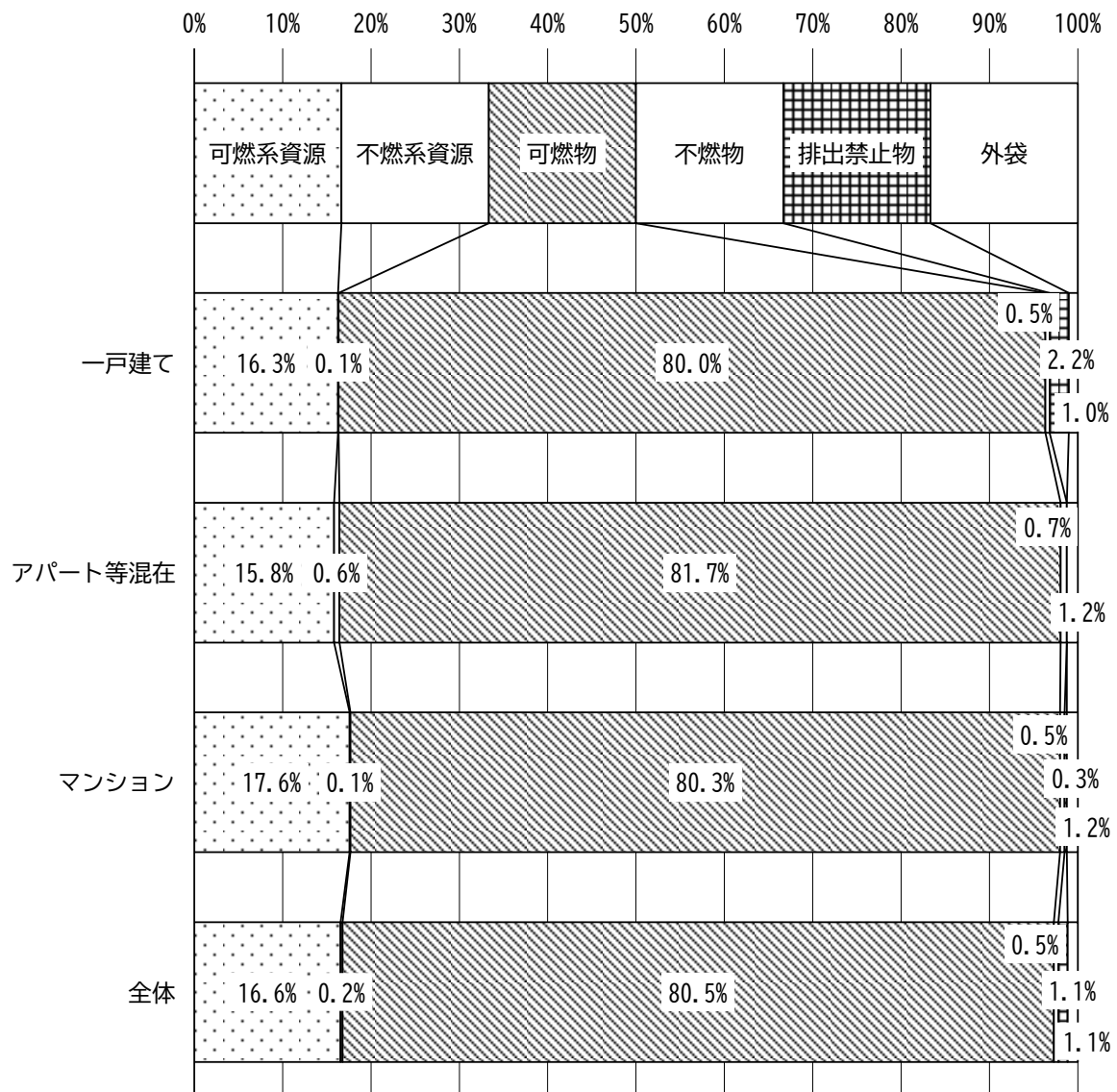


図 2.2-1 可燃ごみの住居形態別の組成分析結果

(2)不燃ごみ

不燃ごみの住居形態別の組成を図 2.2-2 に示す。

住居形態別の不燃物の割合は、一戸建てが最も高く 87.6%、次いで、マンションが 85.1%、アパート等混在が 79.7%の順である。

可燃物の割合は、アパート等混在が最も高く 9.8%、次いで、マンションが 6.9%、一戸建てが 5.6%の順であり、「アパート等混在」で不燃ごみに含まれる可燃ごみの割合が多い。

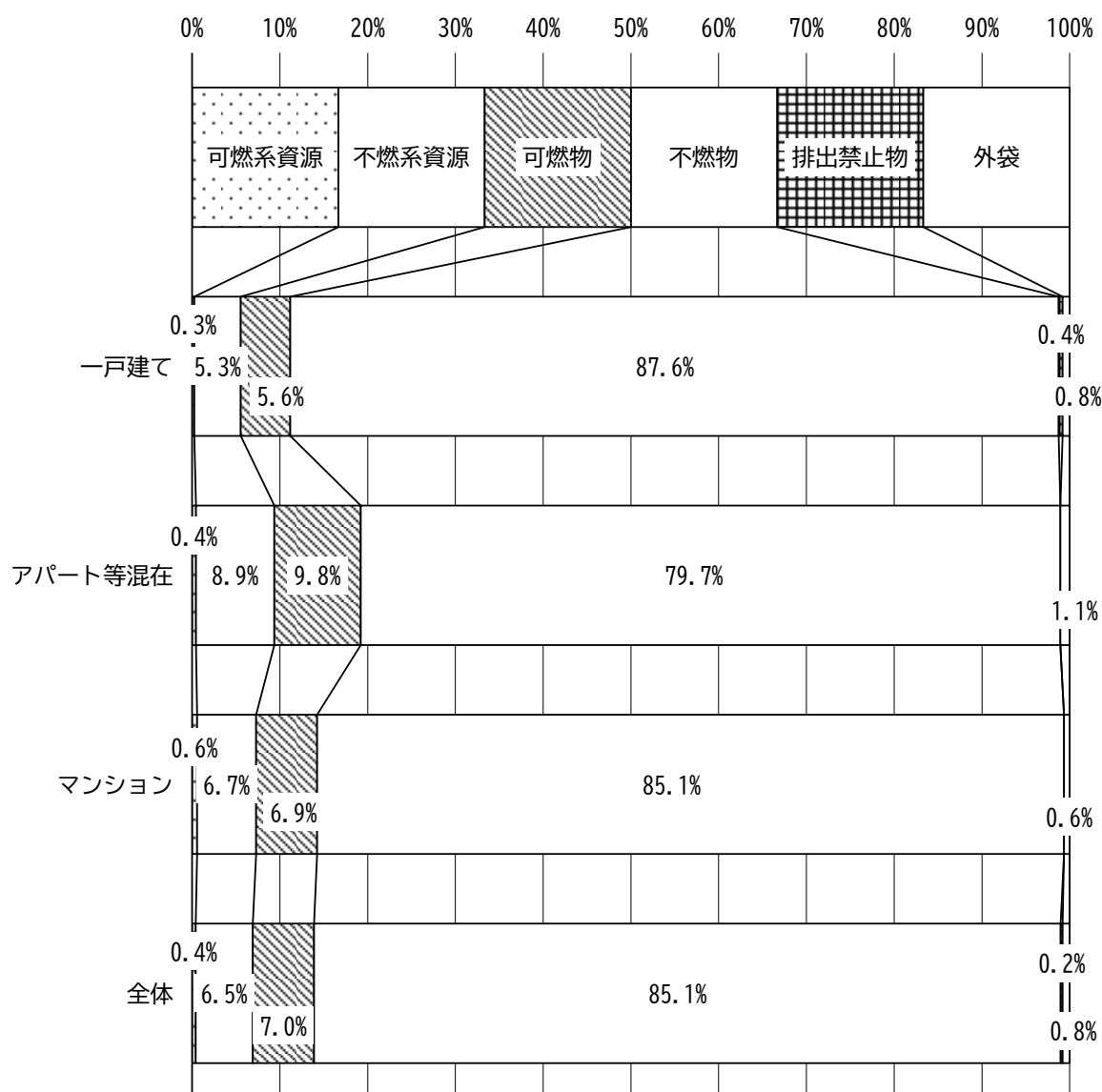


図 2.2-2 不燃ごみの住居形態別の組成分析結果

3 過去の調査結果との比較

(1) 可燃ごみ

可燃ごみの過去の調査結果との比較を、表 2.3-1 及び図 2.3-1 に示す。

可燃系資源は 16.9～22.1%で推移しており、今回調査では 16.6%である。

可燃物は 75.5～80.9%で推移しており、今回調査では 80.5%である。

可燃物のうち、生ごみは減少傾向が続いていたが、これまでで最も低かった令和 6 年度の 25.8%から、今回調査は 26.7%と増加している。一方で、容器包装プラスチックと製品プラスチックは令和 6 年度まで増加傾向がみられたが、令和 7 年度調査以降減少している。

不燃物は、0.2～1.2%で推移しており、今回調査は 0.5%である。

排出禁止物は、0.0～1.5%で推移しており、今回調査は 1.1%である。

表 2.3-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

単位:%

	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7	R8
可燃系資源	20.8	21.6	21.3	18.9	21.9	19.4	21.6	22.1	16.9	17.0	16.6
不燃系資源	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2
可燃物	生ごみ	35.7	32.7	31.1	31.6	28.6	30.0	28.5	26.9	25.8	26.7
	紙類	1.7	1.9	2.2	3.2	2.4	4.2	3.6	3.6	3.4	4.2
	木・草類	7.8	9.8	4.3	3.8	4.9	4.4	3.7	3.3	3.3	6.8
	容器包装プラスチック	10.8	10.7	14.2	14.0	12.6	13.2	14.0	14.2	14.9	12.9
	製品プラスチック	2.5	3.0	2.9	2.5	3.2	4.7	4.8	4.0	5.3	4.7
	ゴム・皮革類	1.3	1.1	0.4	1.1	1.2	0.9	1.1	0.9	1.0	1.2
	その他可燃物	17.1	17.2	20.4	22.9	23.5	20.5	19.9	22.7	26.7	23.3
	小計	76.9	76.4	75.5	79.1	76.4	77.8	75.7	80.5	80.9	80.5
不燃物	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	1.0	0.8	0.6	1.2	0.5	0.5
排出禁止物	0.9	0.3	1.5	0.0	0.0	0.2	0.6	0.3	0.1	0.4	1.1
外袋	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2	1.0	1.1	1.1	1.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

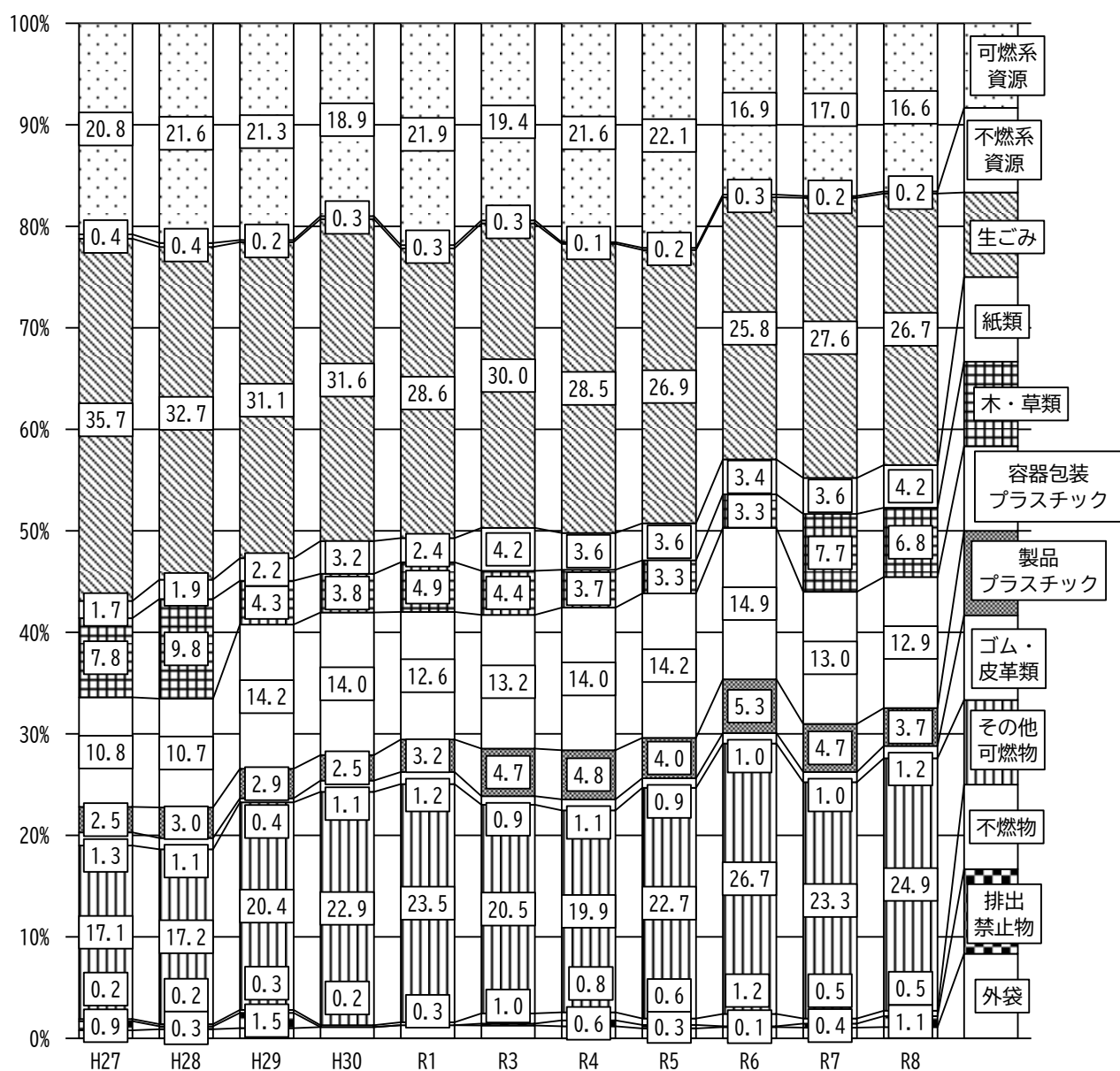


図 2.3-1 可燃ごみの過去の調査結果との比較

(2)不燃ごみ

不燃ごみの過去の調査結果※との比較を、表 2.3-2 及び図 2.3-2 に示す。
 不燃系資源は、5.4～12.0%で推移しており、今回調査は 6.5%である。
 可燃物は、5.3～13.5%で推移しており、今回調査は 7.0%である。
 不燃物は、71.8～84.3%で推移していたが、今回調査は 85.1%と最も多い。
 排出禁止物は、0.3～5.7%で推移していたが、今回調査は 0.2%と最も少ない。

表 2.3-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

単位:%

		H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7	R8
可燃系資源		0.5	0.6	1.2	0.4	0.8	1.7	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4
不燃系資源		8.7	11.6	12.0	9.8	10.5	7.5	5.5	5.4	7.2	6.8	6.5
可燃物		8.5	13.5	7.5	5.3	9.0	11.6	8.4	10.7	8.8	9.7	7.0
不燃物	金属類	27.9	25.9	20.4	24.4	21.9	24.9	29.8	25.4	20.7	22.2	27.1
	電池	2.5	2.7	4.5	3.2	2.7	2.7	3.7	3.9	3.7	4.3	3.6
	ガラス製品	4.2	7.8	9.8	6.8	10.0	9.0	11.8	10.9	15.4	12.6	11.2
	陶磁器	22.9	16.0	17.3	29.7	19.5	13.3	17.9	18.8	19.0	18.3	19.9
	小型家電	13.9	11.4	13.2	10.2	13.9	17.4	13.1	13.6	10.8	12.6	13.2
	傘	2.0	4.3	4.5	3.2	3.4	4.1	4.4	4.8	5.6	5.6	3.4
	蛍光管	0.7	0.9	1.2	0.6	1.5	0.5	1.1	0.6	0.9	1.3	1.1
	電球	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4
	その他不燃物	1.4	2.4	1.3	5.0	5.6	4.1	2.2	3.4	4.5	4.4	5.1
小計		76.0	71.8	72.8	83.5	78.8	76.4	84.3	81.8	81.1	81.7	85.1
排出禁止物		5.7	1.5	5.7	0.3	0.4	2.0	0.7	0.7	1.4	0.6	0.2
外袋		0.7	0.9	0.9	0.6	1.0	0.8	0.7	0.7	1.1	0.8	0.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止した。

※ 小型家電については、令和元年度以前の調査では、小型家電（拠点回収対象）と小型家電（拠点回収対象外）の分類はしていなかった。そのため、令和元年度以前の調査結果の小型家電全体の割合に、令和8年度の小型家電全体に占める小型家電（拠点回収対象）の割合 15.3%を乗じて、小型家電（拠点回収対象）の割合を推計し、不燃系資源とした。

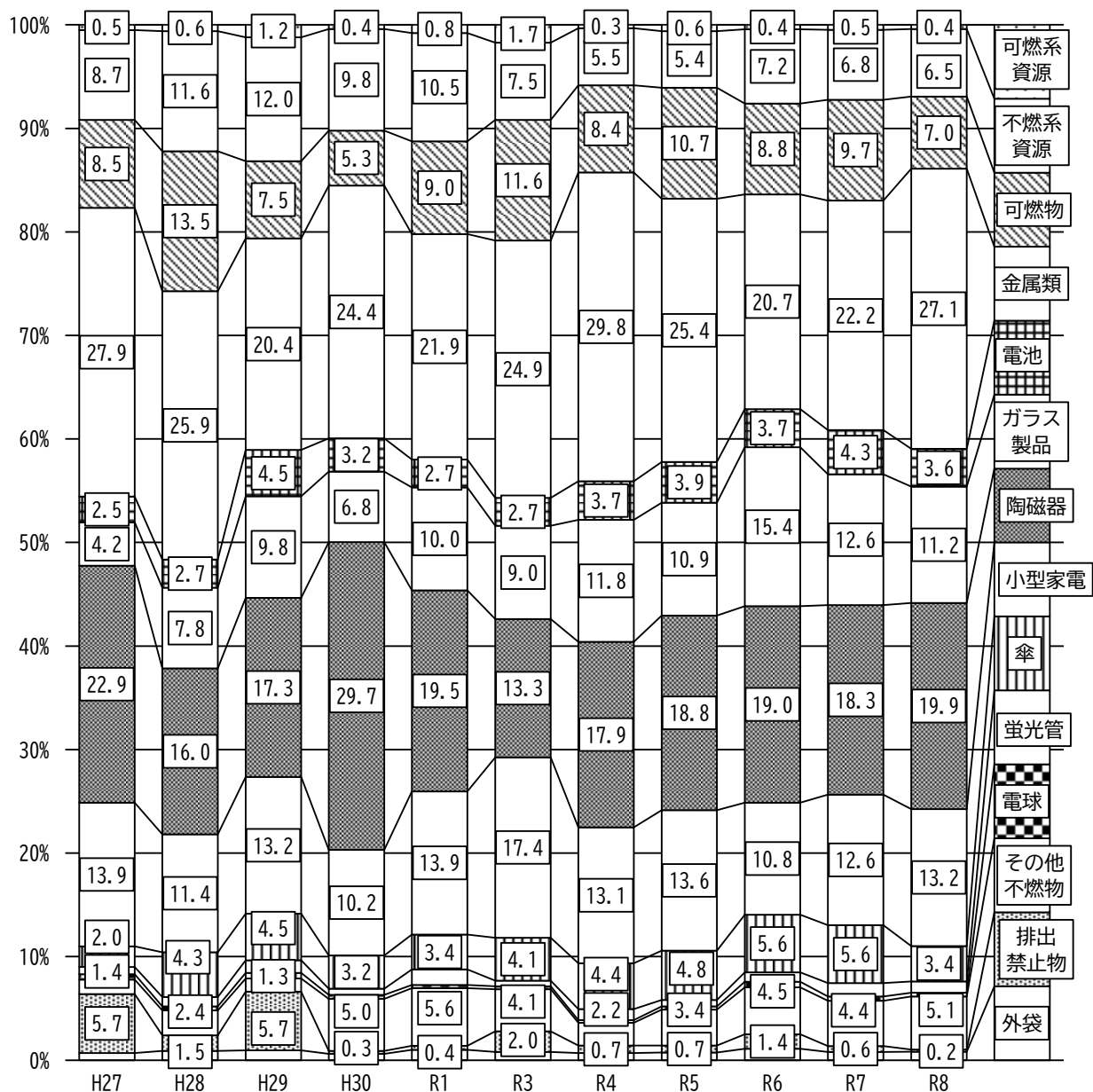


図 2.3-2 不燃ごみの過去の調査結果との比較

4 その他調査結果

(1)可燃ごみの食品ロス

可燃ごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を表 2.4-1 に示す。可燃ごみに占める食品ロスの割合は、直接廃棄が 4.7%、食べ残しが 2.5% で、7.2%が食品ロスである。

生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を図 2.4-1 に示す。直接廃棄が 17.7%、食べ残しが 9.5%で、27.2%が食品ロスである。

表 2.4-1 可燃ごみ及び生ごみに占める食品ロス等の割合

		可燃ごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	60.01	4.7%	60.01	17.7%
	食べ残し	32.31	2.5%	32.31	9.5%
	小計	92.32	7.2%	92.32	27.2%
調理くず		247.51	19.5%	247.51	72.8%
生ごみ小計		339.83	26.7%	339.83	100.0%
生ごみ以外		931.39	73.3%		
合計		1,271.22	100.0%		

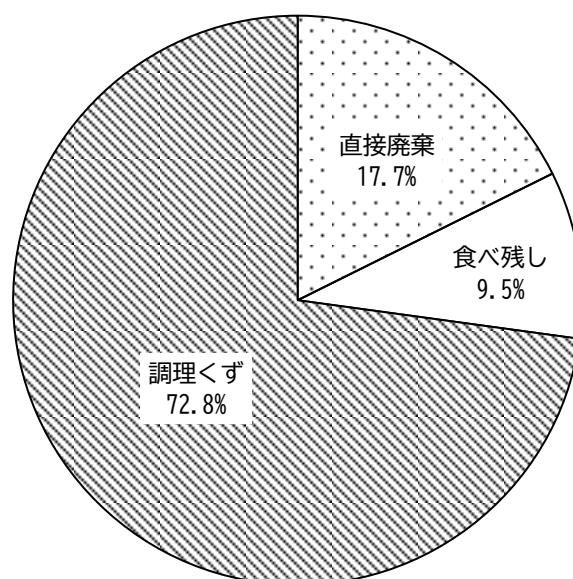


図 2.4-1 生ごみに占める食品ロス等の割合

(2) プラスチック

① レジ袋

レジ袋の内訳を表 2.4-2 に示す。可燃ごみでは 28.7%、不燃ごみでは 80.97% がごみを排出するための外袋として使用されている。

表 2.4-2 レジ袋の重量と割合

	可燃ごみ		不燃ごみ	
	重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
可燃物	9.78	71.3%	0.39	19.1%
外袋	3.94	28.7%	1.65	80.9%
合計	13.72	100.0%	2.04	100.0%

② 製品プラスチック(硬質)の素材表示

可燃ごみ及び不燃ごみに含まれている製品プラスチック（硬質）のうち、1 個の重量が 50g 以上のものの素材表示の有無と材質を表 2.4-3 に示す。素材表示があるものは重量比で 28.9%であり、このうち 18.9%がポリプロピレン、5.6%がその他、2.2%がポリエチレンとポリスチレンである。

表 2.4-3 製品プラスチック(硬質・複合品)の素材表示の有無と材質

		個数		重量	
		個数 (個)	割合	重量 (kg)	割合
表示あり	ポリエチレン	2	2.2%	0.49	2.0%
	ポリプロピレン	17	18.9%	2.71	11.0%
	ポリスチレン	2	2.2%	0.19	0.8%
	その他	5	5.6%	0.89	3.6%
	小計	26	28.9%	4.28	17.3%
表示なし		64	71.1%	9.03	36.6%
50g未満		—	—	11.39	46.1%
合計		90	100.0%	24.70	100.0%

③ 特定プラスチック使用製品の重量と割合

可燃ごみ及び不燃ごみに含まれている、「プラスチック資源循環促進法」の特定プラスチック使用製品のうち、テイクアウト用のカトラリー、クリーニング店の衣類用ハンガー、衣類用カバーの重量と割合を表 2.4-4 に示す。カトラリーが 0.67kg、ハンガーが 0.56kg、衣類用カバーが 0.21kg である。ただし、衣類用カバーについては、調査で衣類用カバーかどうかの判別が難しいものが多かったため、重量が過小に計上されている可能性がある。

表 2.4-4 特定プラスチック使用製品の重量と割合

	重量(kg)	割合
カトラリー	0.67	46.5%
ハンガー	0.56	38.9%
衣類用カバー	0.21	14.6%
合計	1.44	100.0%

(3)小型家電・充電式電池

可燃ごみの小型家電・充電式電池の個数と重量を表 2.4-5 に示す。可燃ごみには、17 個 1.60kg の小型家電があり、充電式電池内蔵が 2 個 0.22 kg、充電式電池非内蔵が 15 個 1.38 kgである。充電式電池単体の排出はなかった。

表 2.4-5 可燃ごみの小型家電・充電式電池の個数と重量

	個数		重量	
	個数	割合	重量(kg)	割合
充電式電池単体	0	0.0%	0.00	0.0%
充電式電池内蔵	2	11.8%	0.22	13.8%
充電式電池非内蔵	15	88.2%	1.38	86.3%
合計	17	100.0%	1.60	100.0%

不燃ごみの小型家電・充電式電池の個数と重量を表 2.4-6 に示す。不燃ごみには、345 個 76.30kg の小型家電があり、充電式電池単体が 11 個 0.82 kg、充電式電池内蔵が 56 個 13.22 kg、充電式電池非内蔵が 278 個 62.26 kgである。

表 2.4-6 不燃ごみの小型家電・充電式電池の個数と重量

	個数		重量	
	個数	割合	重量(kg)	割合
充電式電池単体	11	3.2%	0.82	1.1%
充電式電池内蔵	56	16.2%	13.22	17.3%
充電式電池非内蔵	278	80.6%	62.26	81.6%
合計	345	100.0%	76.30	100.0%

(4)排出禁止物等の個数

電池・蛍光管・電球・排出禁止物等の個数と重量を表 2.4-7 に示す。

今回調査の全サンプル（可燃ごみ、不燃ごみ）中に排出禁止物が 11 個 14.58 kg あり、その内訳は、水銀体温計が 1 個 0.01kg、石が 4 個 1.06kg、土・砂が 6 個 13.51 kgである。

電池（不燃物）は 711 個 18.84 kgあり、その内訳は、筒型乾電池が 660 個 17.87 kg、コイン型電池が 40 個 0.15 kg、充電式電池が 11 個 0.82kg である。蛍光管は 43 本 5.39kg、電球は 46 個 1.72kg である。

表 2.4-7 排出禁止物等の個数と重量

	可燃ごみ		不燃ごみ		合計	
	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)	個数	重量(kg)
電池（不燃物）	10	0.21	701	18.63	711	18.84
筒型乾電池	9	0.20	651	17.67	660	17.87
コイン型電池	1	0.01	39	0.14	40	0.15
充電式電池			11	0.82	11	0.82
蛍光管			43	5.39	43	5.39
電球			46	1.72	46	1.72
排出禁止物	10	13.54	1	1.04	11	14.58
その他電池（ボタン電池等）						
水銀体温計	1	0.01			1	0.01
水銀血圧計						
薬品類（農薬・劇薬）						
注射器・針						
石油類						
ペンキ等の塗料						
バッテリー						
石	3	0.02	1	1.04	4	1.06
土・砂※	6	13.51			6	13.51
ブロック・レンガ						
その他						

※土・砂の個数は、1つの排出袋から出たものを1個としてカウントした。

(5)外袋の形状別の個数及び割合

外袋の形状別の個数及び割合を表 2.4-8 に示す。

可燃ごみでは、プラスチック袋による排出が最も多く 64.8%、次いで、レジ袋が 35.2%の順である。プラスチック袋では 45 リットル袋の使用が 52.2%と多く、次いで、30 リットル袋が 8.2%である。

不燃ごみでは、レジ袋とプラスチック袋による排出が多く 47.8%、次いで、紙袋が 4.2%、その他が 0.2%の順である。プラスチック袋では 10 リットル袋の使用が 37.1%と多く、次いで、45 リットル袋が 7.4%である。

2.4-8 外袋の形状別の個数及び割合

	可燃ごみ		不燃ごみ	
	個数(個)	割合	個数(個)	割合
プラスチック袋	448	64.8%	238	47.8%
10リットル	2	0.3%	185	37.1%
20リットル	7	1.0%	3	0.6%
30リットル	57	8.2%	12	2.4%
45リットル	361	52.2%	37	7.4%
70リットル	18	2.6%	1	0.2%
90リットル	3	0.4%	0	0.0%
レジ袋	243	35.2%	238	47.8%
紙袋	0	0.0%	21	4.2%
その他	0	0.0%	1	0.2%
合計	691	100.0%	498	100.0%

(6)ごみ袋1袋あたりの重量

ごみ袋1袋あたりの重量を表2.4-9に示す。

可燃ごみの平均重量は1.84kg/個である。平均重量が最大のものは90リットル袋で5.78kg/個であり、最小のものは10リットル袋で0.22kg/個である。

不燃ごみの平均重量は0.83kg/個である。平均重量が最大のものは45リットル袋で2.36kg/個であり、最小のものは10リットル袋で0.27kg/個である。

表 2.4-9 ごみ袋1袋あたりの重量

	可燃ごみ			不燃ごみ		
	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)
プラスチック袋	448	1,052.35	2.35	238	169.86	0.71
10リットル	2	0.44	0.22	185	50.59	0.27
20リットル	7	5.29	0.76	3	2.62	0.87
30リットル	57	76.98	1.35	12	27.32	2.28
45リットル	361	871.89	2.42	37	87.25	2.36
70リットル	18	80.41	4.47	1	2.08	2.08
90リットル	3	17.34	5.78	0	0.00	—
レジ袋	243	218.68	0.90	238	201.66	0.85
紙袋	0	0.00	—	21	43.21	2.06
その他	0	0.00	—	1	1.00	1.00
合計	691	1,271.03	1.84	498	415.73	0.83

第3章 家庭ごみ計量調査結果

(1)可燃ごみの排出原単位

可燃ごみの世帯人数等別の排出原単位を図 3.1-1 に示す。

世帯人数等別では、1人世帯・30歳未満が 180.0 g/人日、1人世帯・30歳以上が 362.2 g/人日、2人世帯が 388.8 g/人日、3人世帯が 334.3 g/人日、4人以上世帯が 303.6 g/人日である。

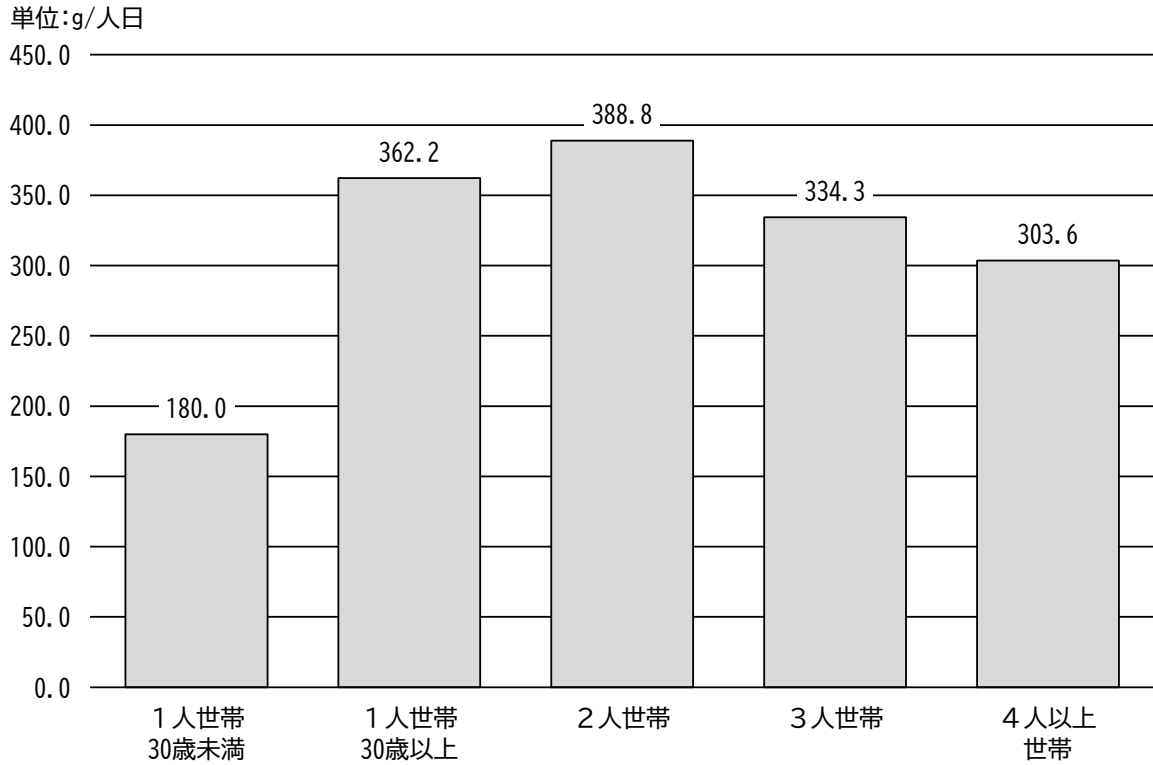


図 3.1-1 可燃ごみの世帯人数等別の排出原単位

第2部 事業系ごみ組成分析調査報告書

第1章 調査目的と概要

1 調査目的

本調査は、①事業所から区収集に排出される可燃ごみの組成と分別状況、②事業系有料ごみ処理券の貼付状況を把握し、廃棄物施策検討の基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

2 調査概要

(1)調査対象

本調査は、区で収集している事業系ごみ※を対象とすることから、事業系ごみが排出されそうな地区を選定し、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、ごみの排出状況や内容から明らかに事業系ごみと判断されるものを調査対象とした。

調査対象地区は、事業所が多い三軒茶屋駅周辺、下北沢駅周辺、二子玉川・用賀駅周辺を選定した。収集したごみを表 1.2-1 に示す業種別に調査した。

なお、令和3年度「世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書（令和3年度版）」において事業系不燃ごみの調査を行ったが、3地域で20事業所のサンプルしか得られず、事業系不燃ごみはごく少量しか排出されていないと推測されたため、事業系不燃ごみの組成分析調査は実施しなかった。

表 1.2-1 業種分類

食料品店	
その他店舗	アパレル業、花屋、美容院、理容室、自転車販売店、薬局、雑貨店など
飲食店	
事務所	保険会社、士師業、公証役場、不動産業など
医療業	医院・クリニック、歯科医院、整体院、鍼灸整骨院、マッサージなど
教育業	幼稚園、学習塾など
その他	駐車場、多目的スペース、スタジオ、造園業、劇場、官公庁、訪問介護など

※ 世田谷区では、家庭廃棄物の収集に支障が生じない範囲において、小規模事業者の一般廃棄物及び産業廃棄物を有料で収集している。

なお、世田谷区が一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物とは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）第2条第4項及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第2条に規定する産業廃棄物のうち、廃プラスチック類（原則としてプラスチック製造業及びプラスチック加工業から排出されるものを除く。）、紙くず、木くず、金属くず（廃油等が付着しているものを除く。）、ガラスくず及び陶磁器くずの6品目である。

表 1.2-2 に、サンプル量を示す。サンプル量は 1,629.30kg である。

表 1.2-2 サンプル量

単位：kg

	食料品店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
三軒茶屋駅周辺	2.90	136.79	133.01	20.48	147.57	14.99	41.22	496.96
下北沢駅周辺	0.00	119.10	284.75	20.11	23.62	1.79	100.52	549.89
二子玉川・用賀駅周辺	17.28	145.53	170.96	18.55	140.99	9.10	80.04	582.45
全体	20.18	401.42	588.72	59.14	312.18	25.88	221.78	1,629.30

(2)調査期間

調査期間を表 1.2-3 に示す。

表 1.2-3 調査期間

5月13日(水)	二子玉川・用賀①
5月14日(木)	下北沢①
5月15日(金)	三軒茶屋①
5月16日(土)	
5月17日(日)	
5月18日(月)	下北沢②
5月19日(火)	三軒茶屋②
5月20日(水)	二子玉川・用賀②

(3)調査方法

調査対象地区の集積所から、事業系有料ごみ処理券が貼付されている可燃ごみと、集積所や内容から事業系ごみと見られる可燃ごみをサンプルとして収集した。表 1.2-1 の 7 業種に分けて、袋の容量と貼付されている事業系有料ごみ処理券の容量を記録するとともに、品目ごとの重量等を測定した。なお、分析は湿ベース（ごみが水分を含んだ状態での重量）で行った。

(4)分類

分類を表 1.2-4 に示す。大分類 7 種類、中分類 23 種類、小分類 76 種類とした。

大分類の可燃系資源と不燃系資源は、事業系資源を資源化するルートがある品目である。

家庭ごみでは、小型家電を拠点回収対象と拠点回収対象外に分け、拠点回収対象を不燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、小型家電としてまとめて分類している。

家庭ごみでは、布類、ペットボトルキャップ等の 4 品目を可燃系資源として集計しているが、事業系ごみは拠点回収の対象ではないため、大分類の可燃物として集計している。一方、家庭ごみでは大分類の可燃物として集計しているシュレッド紙は、事業系ごみでは事業系古紙回収システムの対象であるため、大分類の可燃系資源として集計している。

表 1.2-4(1) 分類表その1

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	読んだだけでごみに出されたもの
		折込広告	新聞の折込広告
		雑誌・本	
		段ボール	
		紙パック	内側が白く、500ミリ以上で「紙パック」マークがついたもの
		包装紙	
		紙袋	紙だけでできているもので区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
		箱類	
		ＯＡ用紙	
		シュレッド紙	
		その他紙類（リサイクル可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せるもの
	ペットボトル		飲料や調味料のペットボトルで「PET」マークがついたもの
不燃系資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	ペットフード含む
		スチール缶（飲食用）	ペットフード含む
	びん類	リターナブルびん	一升びん、ビールびんなどの繰り返し使えるびん
		ワンウェイびん（無色）	
		ワンウェイびん（茶色）	飲料水、調味料、びん詰、栄養ドリンクなどの飲料用のびん
		ワンウェイびん（その他）	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	利用されずにそのまま捨てられた食品
		食べ残し	
		調理くず	
	紙類	新聞（汚れたもの）	読む以外の用途に使用したもの、汚れのあるもの
		紙パック（アルミ付）	内側が銀色の紙パック
		容器包装紙類（リサイクル不可）	四角い紙パック、ビニールコートなどの加工紙、においや汚れの付いているもの
		その他紙類（リサイクル不可）	区の資源分別回収の雑誌類で出せないもの（写真、感熱紙、カーボン紙）
	布 類		衣類、布製テーブルクロス、ハンカチ、タオル
	木・草類		庭木・落ち葉・草、生花
	容器包装プラスチック	ペットボトルキャップ	キャップが単体で排出されたもの
		白色発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色のもの
		色・柄付き発泡トレイ	鮮魚、精肉の食品販売用のトレイで白色以外のもの
		食品用透明プラスチック容器	生鮮食品・加工食品が入っていた無色透明なプラスチック製の容器
		ペットボトル以外のボトル	シャンプーや洗剤などのボトル
		レジ袋	
		発泡スチロール	
		カップ・パック	弁当ガラ、果物・たまごなどのパック、乳酸飲料、ヨーグルト、プリンなどのカップ、豆腐容器
		フィルム	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装
		アルミ蒸着	スナック菓子の袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装など銀色のもの
		チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉
		その他の容器包装プラスチック	緩衝材、ネット、びんのふた

表 1.2-4(2) 分類表その2

大分類	中分類	小分類	備考（代表的な例）
可燃物	製品プラスチック	特定プラスチック使用製品	飲食店等のカトラリー、クリーニング店のハンガー・衣類用袋
		製品プラスチック（軟質）	フィルム状の食品保存容器、市販の袋
		製品プラスチック（硬質）	歯ブラシ、CD、ケースなどプラスチックだけでできているもの
		製品プラスチック（複合品）	プラスチックの玩具、ボールペンなどプラスチック以外の素材との複合品
	ゴム・皮革類	ゴム類	ゴム手袋、自転車タイヤ・チューブ、輪ゴム
		皮革類	革ジャンパー、皮製ハンドバック、革ベルト
	その他可燃物	紙おむつ	
その他可燃物		ティッシュ、たばこの吸殻、化学ぞうきん、ガムテープ、割り箸、木製品	
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	空のスプレー缶、空のカセットボンベ、塗料の缶、自動車オイルの缶などのアルミ缶
		スチール缶（その他）	空のスプレー缶、塗料の缶、自動車オイルの缶などのスチール缶
		缶類以外の金属類	なべ、フライパン、アルミホイル、刃物、中身の入ったエアゾール缶、中身の入ったカセットボンベ
	乾電池	筒型乾電池	
		コイン型電池	
	ガラス製品		ガラス製品、割れたびん、汚れたびん
	陶磁器		
	小型家電・充電式電池	充電式電池	リチウムイオン電池などの充電式の電池
		小型家電（充電式電池内蔵）	充電式の電池が内蔵された小型家電
		小型家電（充電式電池非内蔵）	充電式の電池が内蔵されていない小型家電
	傘		
	蛍光管		
	電球		
その他不燃物			
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	ボタン型の電池
		水銀体温計	
		水銀血圧計	
		薬品類（農薬・劇薬）	
		注射器・針	
		石油類	
		ペンキ等の塗料	
		バッテリー	
		石	
		土・砂	
		ブロック・レンガ	
		その他	粗大ごみ
外袋		プラスチック袋	ごみ袋として使われた透明ごみ袋、半透明ごみ袋
		レジ袋	ごみ袋として使われたレジ袋
		紙袋	ごみ袋として使われた紙袋

(5)留意事項

構成比の合算値は四捨五入の関係上 100%にならないものがある。

第2章 事業系可燃ごみ組成分析調査結果

1 全体

組成分析結果を図 2.1-1 及び表 2.1-1 に示す。

大分類では、可燃系資源が 21.4%、不燃系資源が 0.1%で、資源が合計 21.5%である。その他、可燃物が 76.5%、外袋が 0.8%、不燃物が 0.6%、排出禁止物が 0.6%の順である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 25.6%、次いで、その他可燃物が 20.9%、容器包装プラスチックが 10.3%などの順である。生ごみの小分類では、直接廃棄が 0.8%、食べ残しが 0.8%で、合計 1.6%が食品ロスである。

可燃系資源の中分類では、紙類が 20.7%、ペットボトルが 0.7%である。紙類の小分類では、その他紙類（リサイクル可）が 6.4%と最も多く、次いで、箱類が 4.7%、シュレッド紙が 3.7%などの順である。

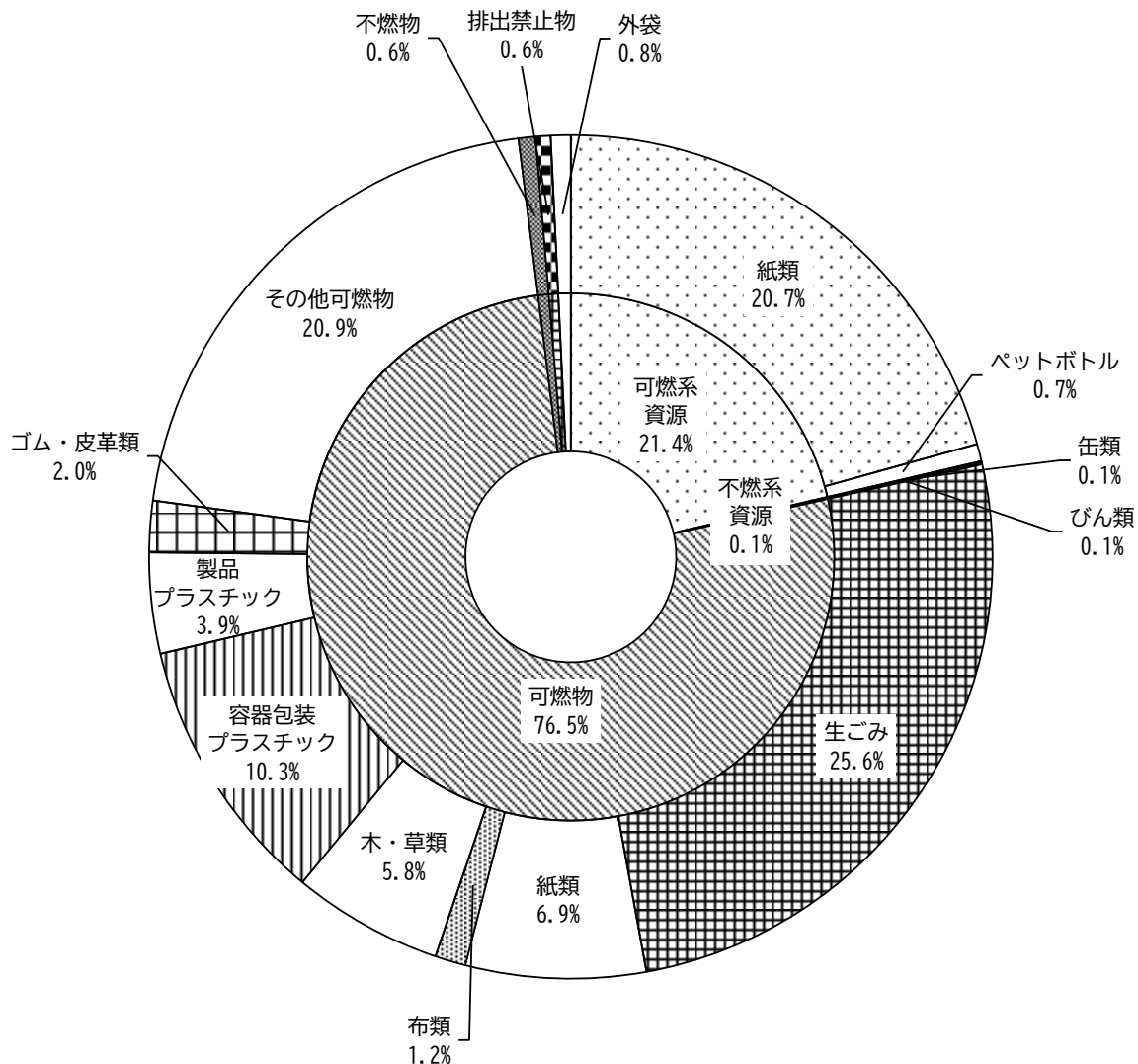


図 2.1-1 組成分析結果

表 2.1-1 組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
可燃系 資源	紙類	新聞（きれいなもの）	2.14	0.1%
		折込広告	0.00	0.0%
		雑誌・本	27.84	1.7%
		段ボール	13.92	0.9%
		紙パック	5.29	0.3%
		包装紙	3.04	0.2%
		紙袋	9.10	0.6%
		箱類	77.05	4.7%
		OA用紙	34.59	2.1%
		シュレッド紙	59.67	3.7%
		その他紙類（リサイクル可）	104.41	6.4%
	ペットボトル	10.82	0.7%	
不燃系 資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	0.47	0.0%
		スチール缶（飲食用）	0.43	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0.00	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	0.76	0.0%
		ワンウェイびん(茶色)	0.41	0.0%
		ワンウェイびん(その他)	0.00	0.0%
可燃物	生ごみ	直接廃棄	13.22	0.8%
		食べ残し	12.61	0.8%
		調理くず	392.08	24.1%
	紙類	新聞（汚れたもの）	6.28	0.4%
		紙パック（アルミ付）	6.56	0.4%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	15.37	0.9%
		その他紙類（リサイクル不可）	84.27	5.2%
	布類	19.08	1.2%	
	木・草類	94.18	5.8%	
	容器包装 プラスチ ック	ペットボトルキャップ	2.13	0.1%
		白色発泡トレイ	0.49	0.0%
		色・柄付き発泡トレイ	0.22	0.0%
		食品用透明プラスチック容器	0.18	0.0%
		ペットボトル以外のボトル	17.64	1.1%
		レジ袋	10.70	0.7%
		発泡スチロール	4.20	0.3%
		カップ・パック	46.13	2.8%
		フィルム	65.66	4.0%
		アルミ蒸着	11.35	0.7%
	チューブ	0.84	0.1%	
	その他の容器包装プラスチック	8.69	0.5%	
	製品プ ラス チック	特定プラスチック使用製品	5.69	0.3%
		製品プラスチック（軟質）	33.27	2.0%
製品プラスチック（硬質）		20.53	1.3%	
製品プラスチック（複合品）		3.42	0.2%	
ゴム・ 皮革類	ゴム類	29.02	1.8%	
	皮革類	3.01	0.2%	
その他 可燃物	紙おむつ	0.27	0.0%	
その他可燃物		339.97	20.9%	
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	0.09	0.0%
		スチール缶（その他）	0.04	0.0%
		缶類以外の金属類	4.89	0.3%
	乾電池	筒型乾電池	0.30	0.0%
		コイン型電池	0.01	0.0%
	ガラス製品	0.61	0.0%	
	陶磁器	0.16	0.0%	
	小型家 電・充 電式 電池	充電式電池	0.00	0.0%
		小型家電（充電式電池内蔵）	0.21	0.0%
		小型家電（充電式電池非内蔵）	2.36	0.1%
			1.29	0.1%
	傘		0.04	0.0%
	蛍光管		0.11	0.0%
	電球		0.44	0.0%
	その他不燃物			
排出禁止物	外袋	その他電池（ボタン電池等）	0.00	0.0%
		水銀体温計	0.00	0.0%
		水銀血圧計	0.00	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0.00	0.0%
		注射器・針	0.00	0.0%
		石油類	0.00	0.0%
		ペンキ等の塗料	0.00	0.0%
		バッテリー	0.00	0.0%
		石	0.00	0.0%
		土・砂	3.89	0.2%
		ブロック・レンガ	0.00	0.0%
		その他	5.39	0.3%
		プラスチック袋	12.40	0.8%
		レジ袋	0.07	0.0%
	紙袋	0.00	0.0%	
合計	1,629.30	100.0%		

大分類	中分類	重量 (kg)	割合	
可燃系 資源	紙類	337.05	20.7%	
	ペットボトル	10.82	0.7%	
不燃系 資源	缶類	0.90	0.1%	
	びん類	1.17	0.1%	
可燃物	生ごみ	417.91	25.6%	
	紙類	112.48	6.9%	
	布類	19.08	1.2%	
	木・草類	94.18	5.8%	
	容器包装プラスチック	168.23	10.3%	
	製品プラスチック	62.91	3.9%	
	ゴム・皮革類	32.03	2.0%	
	その他可燃物	340.24	20.9%	
	不燃物	金属	5.02	0.3%
		乾電池	0.31	0.0%
ガラス製品		0.61	0.0%	
陶磁器		0.16	0.0%	
小型家電・充電式電池		2.57	0.2%	
傘		1.29	0.1%	
蛍光管		0.04	0.0%	
電球		0.11	0.0%	
その他不燃物	0.44	0.0%		
排出禁止物		9.28	0.6%	
外袋		12.47	0.8%	

大分類	重量 (kg)	割合
可燃系資源	347.87	21.4%
不燃系資源	2.07	0.1%
可燃物	1,247.06	76.5%
不燃物	10.55	0.6%
排出禁止物	9.28	0.6%
外袋	12.47	0.8%

2 属性別調査結果

(1)調査対象地区別

可燃ごみの調査対象地区別の組成を図 2.2-1 及び表 2.2-1 に示す。

調査対象地区別の可燃系資源の割合は、二子玉川・用賀が最も高く 22.9%、次いで、三軒茶屋が 22.5%、下北沢が 18.7%の順である。

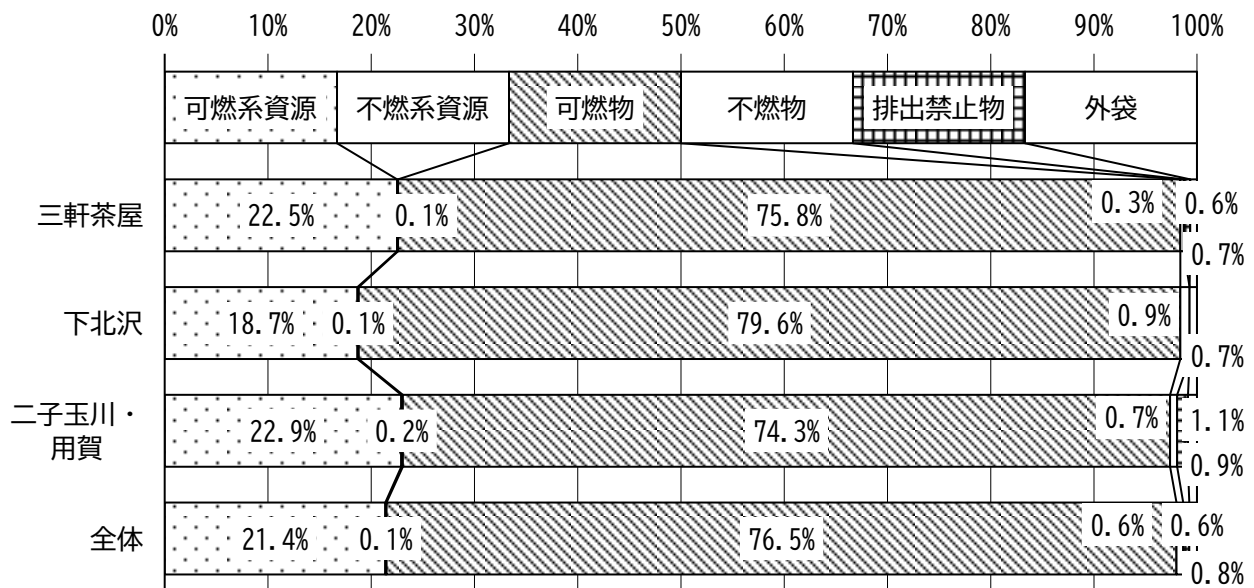


図 2.2-1 調査対象地区別の組成分析結果

表 2.2-1 調査対象地区別の組成分析結果(詳細)

		三軒茶屋		下北沢		二子玉川・用賀		全体	
		重量(kg)	割合	重量(kg)	割合	重量(kg)	割合	重量(kg)	割合
可燃系資源	紙類	108.65	21.9%	97.22	17.7%	131.18	22.5%	337.05	20.7%
	ペットボトル	3.23	0.6%	5.42	1.0%	2.17	0.4%	10.82	0.7%
不燃系資源	缶類	0.24	0.0%	0.22	0.0%	0.44	0.1%	0.90	0.1%
	びん類	0.15	0.0%	0.49	0.1%	0.53	0.1%	1.17	0.1%
可燃物	生ごみ	92.60	18.6%	201.14	36.6%	124.17	21.3%	417.91	25.6%
	紙類	29.92	6.0%	49.10	8.9%	33.46	5.7%	112.48	6.9%
	布類	5.03	1.0%	3.58	0.7%	10.47	1.8%	19.08	1.2%
	木・草類	51.86	10.4%	1.65	0.3%	40.67	7.0%	94.18	5.8%
	容器包装プラスチック	48.28	9.7%	62.69	11.4%	57.26	9.8%	168.23	10.3%
	製品プラスチック	16.59	3.3%	20.34	3.7%	25.98	4.5%	62.91	3.9%
	ゴム・皮革類	18.56	3.7%	5.09	0.9%	8.38	1.4%	32.03	2.0%
	その他可燃物	113.74	22.9%	94.01	17.1%	132.49	22.7%	340.24	20.9%
不燃物	金属	0.73	0.1%	1.80	0.3%	2.49	0.4%	5.02	0.3%
	乾電池	0.17	0.0%	0.06	0.0%	0.08	0.0%	0.31	0.0%
	ガラス製品	0.18	0.0%	0.30	0.1%	0.13	0.0%	0.61	0.0%
	陶磁器	0.07	0.0%	0.03	0.0%	0.06	0.0%	0.16	0.0%
	小型家電・充電式電池	0.44	0.1%	1.00	0.2%	1.13	0.2%	2.57	0.2%
	傘	0.00	0.0%	1.29	0.2%	0.00	0.0%	1.29	0.1%
	蛍光管	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.04	0.0%	0.04	0.0%
	電球	0.06	0.0%	0.02	0.0%	0.03	0.0%	0.11	0.0%
	その他不燃物	0.05	0.0%	0.39	0.1%	0.00	0.0%	0.44	0.0%
排出禁止物		3.07	0.6%	0.00	0.0%	6.21	1.1%	9.28	0.6%
外袋		3.34	0.7%	4.05	0.7%	5.08	0.9%	12.47	0.8%
可燃系資源		111.88	22.5%	102.64	18.7%	133.35	22.9%	347.87	21.4%
不燃系資源		0.39	0.1%	0.71	0.1%	0.97	0.2%	2.07	0.1%
可燃物		376.58	75.8%	437.60	79.6%	432.88	74.3%	1,247.06	76.5%
不燃物		1.70	0.3%	4.89	0.9%	3.96	0.7%	10.55	0.6%
排出禁止物		3.07	0.6%	0.00	0.0%	6.21	1.1%	9.28	0.6%
外袋		3.34	0.7%	4.05	0.7%	5.08	0.9%	12.47	0.8%
全体		496.96	100.0%	549.89	100.0%	582.45	100.0%	1,629.30	100.0%

(2)業種別

可燃ごみの業種別の組成を図 2.2-2 及び表 2.2-2.3 に示す。

業種別の可燃系資源の割合は、事務所が最も高く 57.3%、次いで、そのほか 38.2%、教育業が 35.8%などの順である。

生ごみは、飲食店が 60.0%、食料品店が 46.7%と他の業種に比べて多い。

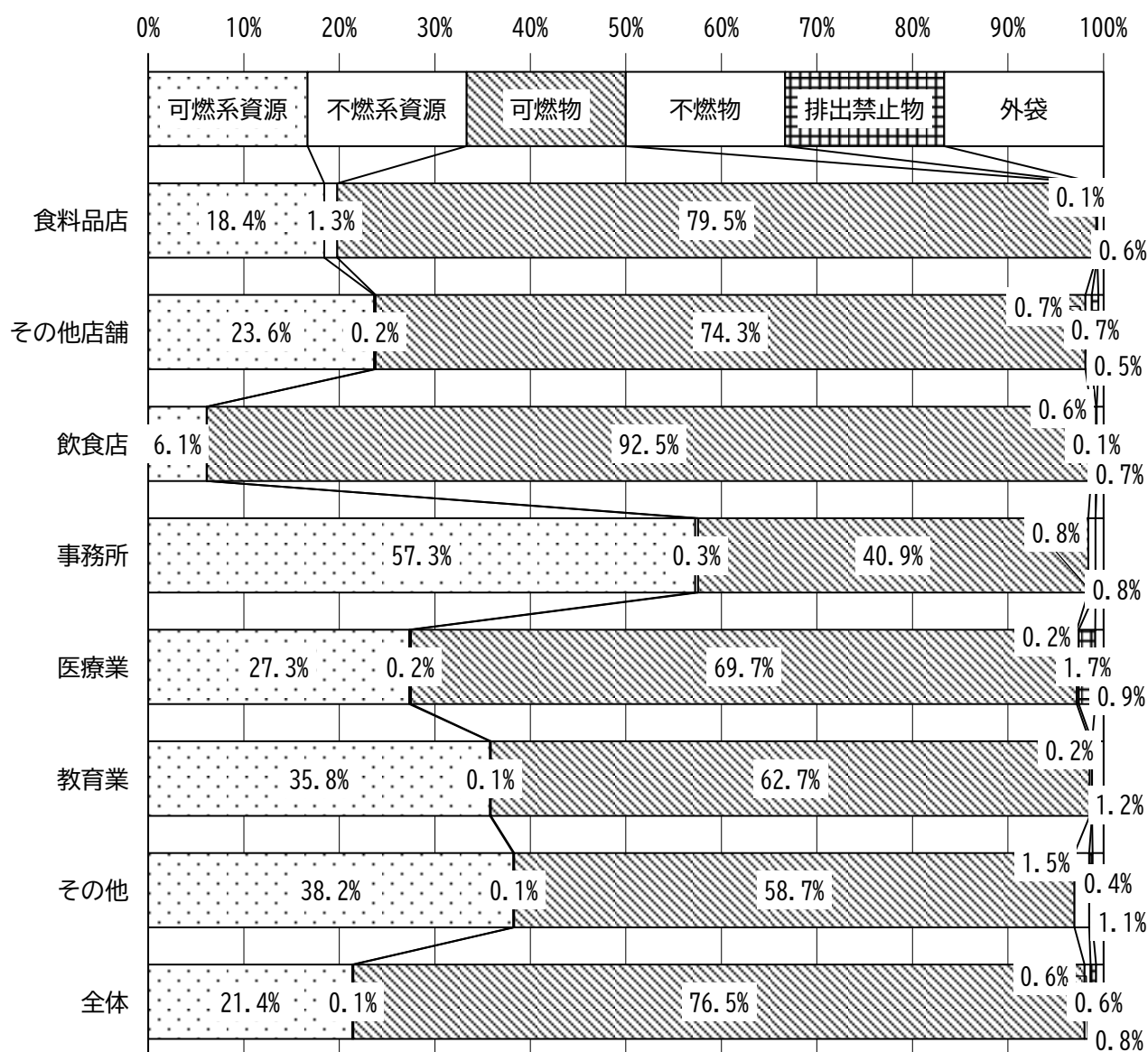


図 2.2-2 業種別の組成分析結果

表 2.2-2 業種別の組成分析結果(詳細・重量)

単位:kg

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
可燃系 資源	紙類	3.70	92.92	29.63	33.82	83.88	9.09	84.01	337.05
	ペットボトル	0.02	2.00	6.36	0.04	1.45	0.17	0.78	10.82
不燃系 資源	缶類	0.06	0.20	0.12	0.02	0.34	0.02	0.14	0.90
	びん類	0.21	0.44	0.08	0.16	0.23	0.00	0.05	1.17
可燃物	生ごみ	9.42	38.05	353.45	0.99	4.06	0.90	11.04	417.91
	紙類	1.36	37.12	24.63	3.84	23.52	2.99	19.02	112.48
	布類	0.51	3.00	1.90	0.45	8.48	0.00	4.74	19.08
	木・草類	0.17	90.27	0.59	1.30	0.30	0.01	1.54	94.18
	容器包装プラスチック	3.49	34.31	56.73	4.51	35.94	4.48	28.77	168.23
	製品プラスチック	0.20	22.26	12.87	1.63	9.91	0.82	15.22	62.91
	ゴム・皮革類	0.01	2.12	0.67	0.10	25.23	0.07	3.83	32.03
	その他可燃物	0.88	71.13	93.92	11.34	110.09	6.96	45.92	340.24
不燃物	金属	0.02	1.79	1.64	0.17	0.21	0.03	1.16	5.02
	乾電池	0.00	0.05	0.00	0.04	0.17	0.00	0.05	0.31
	ガラス製品	0.00	0.29	0.27	0.00	0.01	0.00	0.04	0.61
	陶磁器	0.00	0.03	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16
	小型家電・充電式電池	0.00	0.44	1.14	0.24	0.28	0.00	0.47	2.57
	傘	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.29	1.29
	蛍光管	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
	電球	0.00	0.06	0.02	0.00	0.03	0.00	0.00	0.11
	その他不燃物	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.03	0.38	0.44
排出禁止物		0.00	2.76	0.31	0.00	5.39	0.00	0.82	9.28
外袋		0.13	2.18	4.19	0.49	2.66	0.31	2.51	12.47
可燃系資源		3.72	94.92	35.99	33.86	85.33	9.26	84.79	347.87
不燃系資源		0.27	0.64	0.20	0.18	0.57	0.02	0.19	2.07
可燃物		16.04	298.26	544.76	24.16	217.53	16.23	130.08	1,247.06
不燃物		0.02	2.66	3.27	0.45	0.70	0.06	3.39	10.55
排出禁止物		0.00	2.76	0.31	0.00	5.39	0.00	0.82	9.28
外袋		0.13	2.18	4.19	0.49	2.66	0.31	2.51	12.47
全体		20.18	401.42	588.72	59.14	312.18	25.88	221.78	1,629.30

表 2.2-3 業種別の組成分析結果(詳細・割合)

		食料品 店	その他 店舗	飲食店	事務所	医療業	教育業	その他	全体
可燃系 資源	紙類	18.3%	23.1%	5.0%	57.2%	26.9%	35.1%	37.9%	20.7%
	ペットボトル	0.1%	0.5%	1.1%	0.1%	0.5%	0.7%	0.4%	0.7%
不燃系 資源	缶類	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
	びん類	1.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
可燃物	生ごみ	46.7%	9.5%	60.0%	1.7%	1.3%	3.5%	5.0%	25.6%
	紙類	6.7%	9.2%	4.2%	6.5%	7.5%	11.6%	8.6%	6.9%
	布類	2.5%	0.7%	0.3%	0.8%	2.7%	0.0%	2.1%	1.2%
	木・草類	0.8%	22.5%	0.1%	2.2%	0.1%	0.0%	0.7%	5.8%
	容器包装プラスチック	17.3%	8.5%	9.6%	7.6%	11.5%	17.3%	13.0%	10.3%
	製品プラスチック	1.0%	5.5%	2.2%	2.8%	3.2%	3.2%	6.9%	3.9%
	ゴム・皮革類	0.0%	0.5%	0.1%	0.2%	8.1%	0.3%	1.7%	2.0%
	その他可燃物	4.4%	17.7%	16.0%	19.2%	35.3%	26.9%	20.7%	20.9%
不燃物	金属	0.1%	0.4%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.5%	0.3%
	乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	ガラス製品	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	陶磁器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小型家電・充電式電池	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%
	傘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	電球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他不燃物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%
排出禁止物		0.0%	0.7%	0.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.4%	0.6%
外袋		0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%	1.1%	0.8%
可燃系資源		18.4%	23.6%	6.1%	57.3%	27.3%	35.8%	38.2%	21.4%
不燃系資源		1.3%	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
可燃物		79.5%	74.3%	92.5%	40.9%	69.7%	62.7%	58.7%	76.5%
不燃物		0.1%	0.7%	0.6%	0.8%	0.2%	0.2%	1.5%	0.6%
排出禁止物		0.0%	0.7%	0.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.4%	0.6%
外袋		0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%	1.1%	0.8%

3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況

(1)貼付状況

事業系有料ごみ処理券の貼付状況を表 2.3-1 及び表 2.3-2 に示す。排出袋に見合った事業系有料ごみ処理券を貼付している適正貼付が 72.5%、不足した事業系有料ごみ処理券を貼付している不足貼付が 11.8%、事業系有料ごみ処理券を貼付していない※のが 15.8%である。

業種別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、食料品店が 87.5%で最も高く、次いで、飲食店が 31.3%、その他店舗が 9.6%などの順である。

調査対象地区別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、二子玉川・用賀が 19.6%で最も高く、次いで、下北沢が 15.6%、三軒茶屋が 10.7%の順である。

※ 本調査は、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、ごみの排出状況や内容から、明らかに事業系ごみと判断されるものを調査対象とした。

表 2.3-1 業種別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
食料品店	排出袋数	1	0	7	8
	割合	12.5%	0.0%	87.5%	100.0%
その他店舗	排出袋数	62	13	8	83
	割合	74.7%	15.7%	9.6%	100.0%
飲食店	排出袋数	53	15	31	99
	割合	53.5%	15.2%	31.3%	100.0%
事務所	排出袋数	13	2	0	15
	割合	86.7%	13.3%	0.0%	100.0%
医療業	排出袋数	63	8	6	77
	割合	81.8%	10.4%	7.8%	100.0%
教育業	排出袋数	13	1	0	14
	割合	92.9%	7.1%	0.0%	100.0%
その他	排出袋数	66	5	7	78
	割合	84.6%	6.4%	9.0%	100.0%
全体	排出袋数	271	44	59	374
	割合	72.5%	11.8%	15.8%	100.0%

表 2.3-2 調査対象地区別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
三軒茶屋	排出袋数	80	12	11	103
	割合	77.7%	11.7%	10.7%	100.0%
下北沢	排出袋数	94	14	20	128
	割合	73.4%	10.9%	15.6%	100.0%
二子玉川・用賀	排出袋数	97	18	28	143
	割合	67.8%	12.6%	19.6%	100.0%
全体	排出袋数	271	44	59	374
	割合	72.5%	11.8%	15.8%	100.0%

(2)容積貼付率

容積貼付率とは、事業系有料ごみ処理券の総容積を排出袋の総容積で除したものである。容積貼付率を表 2.3-3 及び表 2.3-4 に示す。全体の容積貼付率は 77.1% である。

業種別では、食料品店が 5.8% で最も低く、次いで、飲食店が 58.0%、その他店舗が 82.4% などの順である。

調査対象地区別では、二子玉川・用賀が 72.9% で最も低く、次いで、下北沢が 77.7%、三軒茶屋が 82.1% の順である。

表 2.3-3 業種別の容積貼付率

単位：リットル

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
食料品店	排出袋容積	20	—	325	345
	処理券容積	20	—	0	20
	容積貼付率	100.0%	—	0.0%	5.8%
その他店舗	排出袋容積	2,935	805	385	4,125
	処理券容積	2,935	465	0	3,400
	容積貼付率	100.0%	57.8%	0.0%	82.4%
飲食店	排出袋容積	2,270	770	1,495	4,535
	処理券容積	2,270	360	0	2,630
	容積貼付率	100.0%	46.8%	0.0%	58.0%
事務所	排出袋容積	675	70	—	745
	処理券容積	675	45	—	720
	容積貼付率	100.0%	64.3%	—	96.6%
医療業	排出袋容積	2,835	550	270	3,655
	処理券容積	2,835	290	0	3,125
	容積貼付率	100.0%	52.7%	0.0%	85.5%
教育業	排出袋容積	560	45	—	605
	処理券容積	560	45	—	605
	容積貼付率	100.0%	100.0%	—	100.0%
その他	排出袋容積	2,995	335	365	3,695
	処理券容積	2,995	160	0	3,155
	容積貼付率	100.0%	47.8%	0.0%	85.4%
全体	排出袋容積	12,290	2,575	2,840	17,705
	処理券容積	12,290	1,365	0	13,655
	容積貼付率	100.0%	53.0%	0.0%	77.1%

表 2.3-4 調査対象地区別の容積貼付率

単位：リットル

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	全体
三軒茶屋	排出袋容積	3,600	795	545	4,940
	処理券容積	3,600	455	0	4,055
	容積貼付率	100.0%	57.2%	0.0%	82.1%
下北沢	排出袋容積	4,440	730	975	6,145
	処理券容積	4,440	335	0	4,775
	容積貼付率	100.0%	45.9%	0.0%	77.7%
二子玉川・用賀	排出袋容積	4,205	1,095	1,320	6,620
	処理券容積	4,205	620	0	4,825
	容積貼付率	100.0%	56.6%	0.0%	72.9%
全体	排出袋容積	12,245	2,620	2,840	17,705
	処理券容積	12,245	1,410	0	13,655
	容積貼付率	100.0%	53.8%	0.0%	77.1%

(3)45 リットルあたりの重量

本調査で収集したごみの重量を排出袋の容積で除して、45 を乗じて算定した、排出袋 45 リットルあたりの業種別及び調査対象地区別の重量を、表 2.3-5 及び表 2.3-6 に示す。

業種別では、飲食店が 5.84kg で最も重く、次いで、その他店舗が 4.38kg、医療業が 3.84kg などの順である。

調査対象地区別では、三軒茶屋が 4.53kg で最も重く、次いで、下北沢が 4.03kg、二子玉川・用賀が 3.96kg の順である。

表 2.3-5 業種別の 45 リットルあたりの重量

業種	排出袋容積 (ℓ)	重量 (kg)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
食料品店	345	20.18	2.63
その他店舗	4,125	401.42	4.38
飲食店	4,535	588.72	5.84
事務所	745	59.14	3.57
医療業	3,655	312.18	3.84
教育業	605	25.88	1.92
その他	3,695	221.78	2.70
全体	17,705	1,629.30	4.14

表 2.3-6 調査対象地区別の 45 リットルあたりの重量

調査対象地区	排出袋容積 (ℓ)	重量 (kg)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
三軒茶屋	4,940	496.96	4.53
下北沢	6,145	549.89	4.03
二子玉川・用賀	6,620	582.45	3.96
全体	17,705	1,629.30	4.14

4 その他調査結果

(1)食品ロス

可燃ごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を表 2.4-1 に示す。可燃ごみに占める食品ロスの割合は、直接廃棄が 0.8%、食べ残しが 0.8% で、1.6%が食品ロスである。

生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くずの割合を図 2.4-1 に示す。直接廃棄が 3.2%、食べ残しが 3.0%で、6.2%が食品ロスである。

表 2.4-1 可燃ごみ及び生ごみに占める食品ロス等の割合

		可燃ごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	13.22	0.8%	13.22	3.2%
	食べ残し	12.61	0.8%	12.61	3.0%
	小計	25.83	1.6%	25.83	6.2%
調理くず		392.08	24.1%	392.08	93.8%
生ごみ小計		417.91	25.6%	417.91	100.0%
生ごみ以外		1,211.39	74.4%		
合計		1,629.30	100.0%		

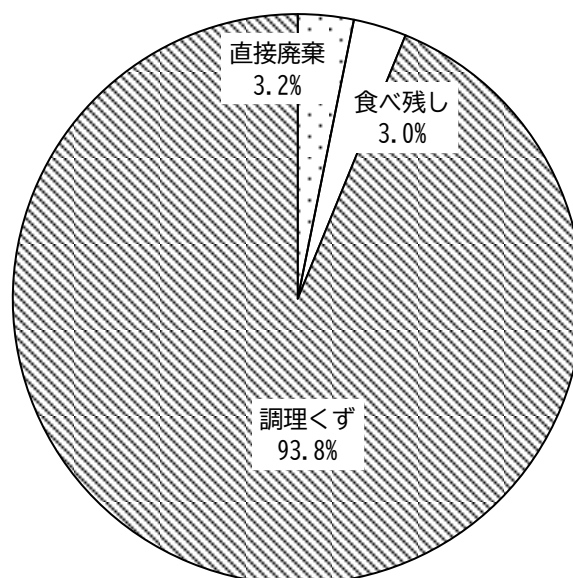


図 2.4-1 生ごみに占める食品ロス等の割合

(2)プラスチック

①レジ袋

レジ袋の内訳を表 2.4-2 に示す。0.6%がごみを排出するための外袋として使用されている。

表 2.4-2 レジ袋の重量と割合

	重量 (kg)	割合
可燃物	10.70	99.4%
外袋	0.07	0.6%
合計	10.77	100.0%

②製品プラスチック(硬質)の素材表示

可燃ごみに含まれている、製品プラスチック（硬質）のうち 1 個の重量が 50g 以上のものの素材表示の有無と材質を表 2.4-3 に示す。素材表示があるものは重量比で 1.2%であり、このうち 0.9%がポリスチレン、0.3%がポリプロピレンである。

表 2.4-3 製品プラスチック(硬質)の素材表示の有無と材質

		個数		重量	
		個数 (個)	割合	重量 (kg)	割合
表示あり	ポリプロピレン	1	2.0%	0.07	0.3%
	ポリスチレン	2	4.0%	0.18	0.9%
	小計	3	6.0%	0.25	1.2%
表示なし		47	94.0%	5.75	28.0%
50g未満		—	—	14.53	70.8%
合計		50	100.0%	20.53	100.0%

③特定プラスチック使用製品の重量と割合

可燃ごみに含まれている、「プラスチック資源循環促進法」の特定プラスチック使用製品のうち、テイクアウト用のカトラリー、クリーニング店の衣類用ハンガー、衣類用カバーの重量と割合を表 2.4-4 に示す。カトラリーが 1.76kg、ハンガーが 3.20kg、衣類用カバーが 0.73kg である。ただし、衣類用カバーについては、調査で衣類用カバーかどうかの判別が難しいものが多かったため、重量が過小に計上されている可能性がある。

表 2.4-4 特定プラスチック使用製品の重量と割合

	重量(kg)	割合
カトラリー	1.76	30.9%
ハンガー	3.20	56.2%
衣類用カバー	0.73	12.8%
合計	5.69	100.0%

(3) 小型家電・充電式電池

小型家電・充電式電池の個数と重量を表 2.4-5 に示す。可燃ごみには、39 個 2.57kg の小型家電があり、充電式電池内蔵が 6 個 0.21 kg、充電式電池非内蔵が 33 個 2.36 kgである。充電式電池単体の排出はなかった。

表 2.4-5 小型家電・充電式電池の個数と重量

	個数		重量	
	個数	割合	重量(kg)	割合
充電式電池単体	0	0.0%	0.00	0.0%
充電式電池内蔵	6	15.4%	0.21	8.2%
充電式電池非内蔵	33	84.6%	2.36	91.8%
合計	39	100.0%	2.57	100.0%

(4) 排出禁止物等の個数

電池・蛍光灯・電球・排出禁止物等の個数と重量を表 2.4-6 に示す。

今回調査の全サンプル中に排出禁止物が 4 個 9.28 kgあり、その内訳は、土・砂が 3 個 3.89 kg、その他が 1 個 5.39 kgである。

電池（不燃物）は 39 個 0.31 kgあり、その内訳は、筒型乾電池が 23 個 0.30 kg、コイン電池が 16 個 0.01 kgである。蛍光灯は 2 個 0.04kg である。電球は 1 個 0.11kg である。

表 2.4-6 排出禁止物等の個数と重量

品目	個数	重量(kg)
電池（不燃物）	39	0.31
筒型乾電池	23	0.30
コイン電池	16	0.01
充電式電池		
蛍光灯	2	0.04
電球	1	0.11
排出禁止物	4	9.28
その他電池（ボタン電池等）		
水銀体温計		
水銀血圧計		
薬品類（農薬・劇薬）		
注射器・針		
石油類		
ペンキ等の塗料		
バッテリー		
石		
土・砂※	3	3.89
ブロック・レンガ		
その他	1	5.39

※土・砂の個数は、1つの排出袋から出たものを1個としてカウントした。

第3部 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量推計

1 排出原単位の推計

令和 2 年 10 月の国勢調査の結果を用い、世帯人数等別の人口割合を算定する。
この人口割合で補正した世帯人数等別の排出原単位を加重平均して、排出原単位
を推計する。

(1)世帯人数等別人口推計

令和 2 年 10 月の国勢調査による、世田谷区の世帯人数別の世帯数と人口を表
1.1-1 に示す。

表 1.1-1 世帯人数別の世帯数と人口

	世帯数（世帯）	人口（人）
1人世帯	250,635	250,635
2人世帯	112,925	225,850
3人世帯	69,606	208,818
4人世帯	48,158	192,632
5人世帯	8,864	44,320
6人世帯	1,261	7,566
7人以上世帯	268	1,950
合計	491,717	931,771

同じく国勢調査による、単身世帯の年齢別人口を表 1.1-2 に示す。

表 1.1-2 単身世帯の年齢別人口

	人口（人）	割合
30歳未満	64,980	26.1%
30歳以上	183,593	73.9%
合計	248,573	100.0%

※合計が表1.1-1の「1人世帯」の世帯
数と合致しないのは、「年齢不詳」の
人口が含まれていないため。

表 1.1-1 の 4 人以上世帯を足し上げ、1 人世帯を表 1.1-2 の割合で按分した、世帯人数等別の人口と割合を表 1.1-3 に示す。

表 1.1-3 世帯人数等別の人口と割合

	人口（人）	割合
1 人世帯・30 歳未満	65,416	7.0%
1 人世帯・30 歳以上	185,219	19.9%
2 人世帯	225,850	24.2%
3 人世帯	208,818	22.4%
4 人以上世帯	246,468	26.5%
合計	931,771	100.0%

(2)排出原単位の推計

世帯人数等別の可燃ごみの排出原単位(p.26 参照)に、世帯人数等別の人口割合を乗じて推計した可燃ごみの排出原単位を表 1.1-4 に示す。家庭から排出される可燃ごみの排出原単位は 334.1 g/人日である。

表 1.1-4 排出原単位の推計

	可燃ごみ 排出原単位 (g/人日)	人口割合
1 人世帯・30 歳未満	180.0	7.0%
1 人世帯・30 歳以上	362.2	19.9%
2 人世帯	388.8	24.2%
3 人世帯	334.3	22.4%
4 人以上世帯	303.6	26.5%
世田谷区の排出原単位	334.1	100.0%

2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計

(1)世田谷区の区収集ごみ量

令和7年度の世田谷区の区収集ごみ量を表1.2-1に示す。

表 1.2-1 世田谷区の区収集ごみ量

単位：t/年	
	区収集ごみ量
可燃ごみ	151,273
不燃ごみ	5,253

(2)不燃ごみ

令和3年度に行った組成分析調査及び計量調査において、事業系不燃ごみは3地域で20事業所のサンプルしか得られず、事業系不燃ごみはごく少量しか排出されていないと推測されたため、区で収集した不燃ごみ5,253t/年は、すべて家庭ごみと見なす。

(3)家庭可燃ごみ量の推計(補正前)

家庭可燃ごみ量は、表1.1-4の排出原単位に令和7年10月1日現在の人口と年間日数(365日)を乗じて推計する。家庭可燃ごみ量は113,305t/年と推計される。

表 1.2-2 排出原単位から推計した家庭可燃ごみ量(補正前)

	排出原単位 (g/人日)	人口 (人)	家庭 可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
可燃ごみ	334.1	929,133	113,305

(注)人口は令和7年10月1日現在。

(4)事業系可燃ごみ量の推計(補正前)

券種の容積に、令和7年度の事業系有料ごみ処理券の売上枚数を乗じて、年間売上容積を算定し、45リットル袋に換算した枚数は574,508枚である。事業系ごみ組成分析調査から、45リットル袋あたりの重量は4.14kg/枚、事業系有料ごみ処理券の貼付率は72.5%であるため、事業系可燃ごみ量は3,281t/年と推計される。

表 1.2-3 事業系有料ごみ処理券の売上枚数等から推計した
事業系可燃ごみ量(補正前)

券種	枚数 (枚/年)	容積 (ℓ)	45ℓ袋 換算 (枚)	45ℓ袋 の重量 (kg/枚)	貼付率	事業系可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
A	B	C=A*B	D=C/45	E	F	G=D*E/F/1,000
70ℓ	35,730	2,501,100				
45ℓ	470,930	21,191,850				
20ℓ	74,080	1,481,600				
10ℓ	67,830	678,300				
合計	648,570	25,852,850	574,508	4.14	72.5%	3,281

(5)実績値による補正

推計した家庭可燃ごみ量(補正前)は113,305t/年、事業系可燃ごみ量(補正前)は3,281t/年、合計で116,586t/年である。一方、令和7年度の区収集可燃ごみ量は151,273tで、推計値は実績値の77.1%である。そのため、補正前の推計値を77.1%で除して推計した補正後のごみ量は、家庭可燃ごみ量が147,016t/年、事業系可燃ごみ量が4,257t/年である。

表 1.2-4 実績値により補正した家庭・事業系別の区収集可燃ごみ量

	推計値 (補正前)	令和7年度 区収集 可燃ごみ量	実績値に対す る推計値の 割合	推計値 (補正後)
数式	A	B	C=A/B	D=A/C
家庭ごみ量	113,305			147,016
事業系ごみ量	3,281			4,257
合計	116,586	151,273	77.1%	151,273

3 家庭ごみ・事業系ごみの品目別区収集ごみ量の推計

※四捨五入の関係上、小分類、中分類、大分類で合計値が相違する場合がある。

(1)家庭可燃ごみ

表 1.3-1 家庭可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系 資源	紙類	新聞（きれいなもの）	214	0.1%
		折込広告	16	0.0%
		雑誌・本	1,636	1.1%
		段ボール	989	0.7%
		紙バック	849	0.6%
		包装紙	71	0.0%
		紙袋	1,382	0.9%
		箱類	3,409	2.3%
		OA用紙	434	0.3%
		その他紙類（リサイクル可）	6,077	4.1%
	布 類		8,016	5.5%
	ペットボトル		705	0.5%
	プラスチッ ク	ペットボトルキャップ	194	0.1%
白色発泡トレイ		145	0.1%	
色・柄付き発泡トレイ		187	0.1%	
食品用透明プラスチック容器		20	0.0%	
不燃系 資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	39	0.0%
		スチール缶（飲食用）	72	0.0%
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん(無色)	116	0.1%
		ワンウェイびん(茶色)	45	0.0%
	ワンウェイびん(その他)	16	0.0%	
拠点回収対 象小型家電	小型家電（充電式電池内蔵）	0	0.0%	
	小型家電（充電式電池非内蔵）	32	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	6,940	4.7%
		食べ残し	3,737	2.5%
		調理くず	28,624	19.5%
	紙類	新聞（汚れたもの）	732	0.5%
		紙バック（アルミ付）	655	0.4%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	2,348	1.6%
		シュレッド紙	71	0.0%
		その他紙類（リサイクル不可）	2,372	1.6%
	木・草類		10,043	6.8%
	容器包装プ ラスチック	ペットボトル以外のボトル	1,960	1.3%
		レジ袋	1,131	0.8%
		発泡スチロール	190	0.1%
		カップ・バック	6,442	4.4%
		フィルム	6,029	4.1%
		アルミ蒸着	2,173	1.5%
		チューブ	239	0.2%
		その他の容器包装プラスチック	823	0.6%
	製品プラス チック	特定プラスチック使用製品	164	0.1%
		製品プラスチック（軟質）	2,396	1.6%
		製品プラスチック（硬質）	2,175	1.5%
		製品プラスチック（複合品）	738	0.5%
	ゴム・皮革 類	ゴム類	961	0.7%
		皮革類	827	0.6%
	その他可燃 物	紙おむつ	5,636	3.8%
		その他可燃物	30,951	21.1%
不燃物	金属	アルミ缶（その他）	0	0.0%
		スチール缶（その他）	0	0.0%
		缶類以外の金属類	369	0.3%
	乾電池	筒型乾電池	23	0.0%
		コイン型電池	1	0.0%
	ガラス製品		62	0.0%
	陶磁器		39	0.0%
	小型家電・ 充電式電池	充電式電池	0	0.0%
		小型家電（充電式電池内蔵）	25	0.0%
		小型家電（充電式電池非内蔵）	127	0.1%
	傘		0	0.0%
	蛍光管		0	0.0%
	電球		0	0.0%
その他不燃物		130	0.1%	

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	0	0.0%
		水銀体温計	1	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	2	0.0%
		土・砂	1,562	1.1%
外袋	ブロック・レンガ	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	
	プラスチック袋	1,196	0.8%	
	レジ袋	456	0.3%	
	紙袋	0	0.0%	
合計			147,016	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系 資源	紙類	15,077	10.3%
	布 類	8,016	5.5%
	ペットボトル	705	0.5%
	プラスチック	546	0.4%
不燃系 資源	缶類	111	0.1%
	びん類	177	0.1%
	拠点回収対象小型家電	32	0.0%
可燃物	生ごみ	39,301	26.7%
	紙類	6,177	4.2%
	木・草類	10,043	6.8%
	容器包装プラスチック	18,987	12.9%
	製品プラスチック	5,474	3.7%
	ゴム・皮革類	1,788	1.2%
	その他可燃物	36,587	24.9%
不燃物	金属	369	0.3%
	乾電池	24	0.0%
	ガラス製品	62	0.0%
	陶磁器	39	0.0%
	小型家電・充電式電池	153	0.1%
	傘	0	0.0%
	蛍光管	0	0.0%
	電球	0	0.0%
その他不燃物		130	0.1%
排出禁止物		1,566	1.1%
外袋		1,651	1.1%

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	24,344	16.6%
不燃系資源	320	0.2%
可燃物	118,357	80.5%
不燃物	777	0.5%
排出禁止物	1,566	1.1%
外袋	1,651	1.1%

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	0	0.0%
		水銀体温計	1	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	2	0.0%
		土・砂	1,562	1.1%
		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	0	0.0%
外袋		プラスチック袋	1,196	0.8%
		レジ袋	456	0.3%
		紙袋	0	0.0%
合計			147,016	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	15,077	10.3%
	布類	8,016	5.5%
	ペットボトル	705	0.5%
	プラスチック	546	0.4%
不燃系資源	缶類	111	0.1%
	びん類	177	0.1%
	拠点回収対象小型家電	32	0.0%
可燃物	生ごみ	39,301	26.7%
	紙類	6,177	4.2%
	木・草類	10,043	6.8%
	容器包装プラスチック	18,987	12.9%
	製品プラスチック	5,474	3.7%
	ゴム・皮革類	1,788	1.2%
	その他可燃物	36,587	24.9%
不燃物	金属	369	0.3%
	乾電池	24	0.0%
	ガラス製品	62	0.0%
	陶磁器	39	0.0%
	小型家電・充電式電池	153	0.1%
	傘	0	0.0%
	蛍光管	0	0.0%
	電球	0	0.0%
	その他不燃物	130	0.1%
排出禁止物		1,566	1.1%
外袋		1,651	1.1%

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	24,344	16.6%
不燃系資源	320	0.2%
可燃物	118,357	80.5%
不燃物	777	0.5%
排出禁止物	1,566	1.1%
外袋	1,651	1.1%

(2)事業系可燃ごみ

表 1.3-2 事業系可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	新聞（きれいなもの）	6	0.1%
		折込広告	0	0.0%
		雑誌・本	73	1.7%
		段ボール	36	0.9%
		紙バック	14	0.3%
		包装紙	8	0.2%
		紙袋	24	0.6%
		箱類	201	4.7%
		OA用紙	90	2.1%
		シュレッド紙	156	3.7%
不燃系資源	びん類	その他紙類（リサイクル可）	273	6.4%
		ペットボトル	28	0.7%
		アルミ缶（飲食用）	1	0.0%
		スチール缶（飲食用）	1	0.0%
		リターナブルびん	0	0.0%
		ワンウェイびん（無色）	2	0.0%
		ワンウェイびん（茶色）	1	0.0%
		ワンウェイびん（その他）	0	0.0%
		直接廃棄	35	0.8%
		食べ残し	33	0.8%
可燃物	紙類	調理くず	1,024	24.1%
		新聞（汚れたもの）	16	0.4%
		紙バック（アルミ付）	17	0.4%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	40	0.9%
		その他紙類（リサイクル不可）	220	5.2%
		布類	50	1.2%
		木・草類	246	5.8%
		ペットボトルキャップ	6	0.1%
		白色発泡トレイ	1	0.0%
		色・柄付き発泡トレイ	1	0.0%
可燃物	容器包装プラスチック	食品用透明プラスチック容器	0	0.0%
		ペットボトル以外のボトル	46	1.1%
		レジ袋	28	0.7%
		発泡スチロール	11	0.3%
		カップ・パック	121	2.8%
		フィルム	172	4.0%
		アルミ蒸着	30	0.7%
		チューブ	2	0.1%
		その他の容器包装プラスチック	23	0.5%
		特定プラスチック使用製品	15	0.3%
不燃物	製品プラスチック	製品プラスチック（軟質）	87	2.0%
		製品プラスチック（硬質）	54	1.3%
		製品プラスチック（複合品）	9	0.2%
		ゴム・皮革類	76	1.8%
		皮革類	8	0.2%
		紙おむつ	1	0.0%
		その他可燃物	888	20.9%
		アルミ缶（その他）	0	0.0%
		スチール缶（その他）	0	0.0%
		缶類以外の金属類	13	0.3%
不燃物	乾電池	筒型乾電池	1	0.0%
		コイン型電池	0	0.0%
		ガラス製品	2	0.0%
		陶磁器	0	0.0%
		小型家電・充電式電池	0	0.0%
		小型家電（充電式電池内蔵）	1	0.0%
		小型家電（充電式電池非内蔵）	6	0.1%
		傘	3	0.1%
		蛍光管	0	0.0%
		電球	0	0.0%
不燃物	その他不燃物	その他不燃物	1	0.0%
		金属	0	0.0%
		スチール缶（その他）	0	0.0%
		缶類以外の金属類	13	0.3%
		筒型乾電池	1	0.0%
		コイン型電池	0	0.0%
		ガラス製品	2	0.0%
		陶磁器	0	0.0%
		小型家電・充電式電池	0	0.0%
		小型家電（充電式電池内蔵）	1	0.0%

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	0	0.0%
		土・砂	10	0.2%
		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	14	0.3%
外袋		プラスチック袋	32	0.8%
		レジ袋	0	0.0%
		紙袋	0	0.0%
合計			4,257	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	紙類	881	20.7%
可燃系資源	ペットボトル	28	0.7%
不燃系資源	缶類	2	0.1%
不燃系資源	びん類	3	0.1%
可燃物	生ごみ	1,092	25.6%
	紙類	294	6.9%
	布類	50	1.2%
	木・草類	246	5.8%
	容器包装プラスチック	440	10.3%
	製品プラスチック	164	3.9%
	ゴム・皮革類	84	2.0%
	その他可燃物	889	20.9%
不燃物	金属	13	0.3%
	乾電池	1	0.0%
	ガラス製品	2	0.0%
	陶磁器	0	0.0%
	小型家電・充電式電池	7	0.2%
	傘	3	0.1%
	蛍光管	0	0.0%
	電球	0	0.0%
	その他不燃物	1	0.0%
排出禁止物		24	0.6%
外袋		33	0.8%

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	909	21.4%
不燃系資源	5	0.1%
可燃物	3,258	76.5%
不燃物	28	0.6%
排出禁止物	24	0.6%
外袋	33	0.8%

(3)不燃ごみ

表 1.3-3 不燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合	
可燃系 資源	紙類	新聞（きれいなもの）	0	0.0%	
		折込広告	0	0.0%	
		雑誌・本	3	0.0%	
		段ボール	1	0.0%	
		紙パック	0	0.0%	
		包装紙	0	0.0%	
		紙袋	6	0.1%	
		箱類	6	0.1%	
		OA用紙	0	0.0%	
		その他紙類（リサイクル可）	3	0.1%	
	布 類		0	0.0%	
	ペットボトル		2	0.0%	
	プラスチ ック	ペットボトルキャップ	0	0.0%	
		白色発泡トレイ	0	0.0%	
		色・柄付き発泡トレイ	0	0.0%	
		食品用透明プラスチック容器	0	0.0%	
不燃系 資源	缶類	アルミ缶（飲食用）	5	0.1%	
		スチール缶（飲食用）	52	1.0%	
	びん類	リターナブルびん	0	0.0%	
		ワンウェイびん(無色)	108	2.1%	
		ワンウェイびん(茶色)	32	0.6%	
	ワンウェイびん(その他)	22	0.4%		
拠点回収対 象小型家電	小型家電（充電式電池内蔵）	41	0.8%		
	小型家電（充電式電池非内蔵）	83	1.6%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	33	0.6%	
		食べ残し	0	0.0%	
		調理くず	1	0.0%	
	紙類	新聞（汚れたもの）	7	0.1%	
		紙パック（アルミ付）	0	0.0%	
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0	0.0%	
		シュレッド紙	0	0.0%	
		その他紙類（リサイクル不可）	13	0.2%	
	木・草類		0	0.0%	
	容器包装プ ラスチック	ペットボトル以外のボトル	23	0.4%	
		レジ袋	4	0.1%	
		発泡スチロール	1	0.0%	
		カップ・バック	0	0.0%	
		フィルム	6	0.1%	
		アルミ蒸着	0	0.0%	
		チューブ	0	0.0%	
		その他の容器包装プラスチック	14	0.3%	
	製品プラス チック	特定プラスチック使用製品	0	0.0%	
		製品プラスチック（軟質）	7	0.1%	
		製品プラスチック（硬質）	63	1.2%	
	製品プラスチック（複合品）	114	2.2%		
	ゴム・皮革 類	ゴム類	0	0.0%	
		皮革類	16	0.3%	
	その他可燃 物	紙おむつ	0	0.0%	
		その他可燃物	61	1.2%	
	不燃物	金属	アルミ缶（その他）	64	1.2%
			スチール缶（その他）	149	2.8%
			缶類以外の金属類	1,209	23.0%
		乾電池	筒型乾電池	190	3.6%
			コイン型電池	2	0.0%
ガラス製品		590	11.2%		
陶磁器		1,046	19.9%		
小型家電・ 充電式電池		充電式電池	9	0.2%	
		小型家電（充電式電池内蔵）	126	2.4%	
小型家電（充電式電池非内蔵）		560	10.7%		
傘		180	3.4%		
蛍光管		58	1.1%		
電球		18	0.4%		
その他不燃物		270	5.1%		

大分類	中分類	小分類	ごみ量 (t/年)	割合
排出禁止物		その他電池（ボタン電池等）	0	0.0%
		水銀体温計	0	0.0%
		水銀血圧計	0	0.0%
		薬品類（農薬・劇薬）	0	0.0%
		注射器・針	0	0.0%
		石油類	0	0.0%
		ペンキ等の塗料	0	0.0%
		バッテリー	0	0.0%
		石	11	0.2%
		土・砂	0	0.0%
		ブロック・レンガ	0	0.0%
		その他	0	0.0%
外袋	プラスチック袋	9	0.2%	
	レジ袋	18	0.3%	
	紙袋	16	0.3%	
合計			5,253	100.0%

大分類	中分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系 資源	紙類	19	0.4%
	布 類	0	0.0%
	ペットボトル	2	0.0%
	プラスチック	0	0.0%
不燃系 資源	缶類	57	1.1%
	びん類	162	3.1%
	拠点回収対象小型家電	124	2.4%
可燃物	生ごみ	34	0.6%
	紙類	20	0.4%
	木・草類	0	0.0%
	容器包装プラスチック	49	0.9%
	製品プラスチック	185	3.5%
	ゴム・皮革類	16	0.3%
	その他可燃物	62	1.2%
不燃物	金属	1,423	27.1%
	乾電池	191	3.6%
	ガラス製品	590	11.2%
	陶磁器	1,046	19.9%
	小型家電・充電式電池	695	13.2%
	傘	180	3.4%
	蛍光管	58	1.1%
	電球	18	0.4%
	その他不燃物	270	5.1%
	排出禁止物	11	0.2%
外袋	42	0.8%	

大分類	ごみ量 (t/年)	割合
可燃系資源	21	0.4%
不燃系資源	343	6.5%
可燃物	366	7.0%
不燃物	4,470	85.1%
排出禁止物	11	0.2%
外袋	42	0.8%

(4)家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量

家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量を表 1.3-4 に示す。

区収集ごみには、可燃系資源が 25,274t、不燃系資源が 669t、排出禁止物が 1,601t 含まれていると推計される。

表 1.3-4 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量の推計

単位：t/年

		可燃ごみ			不燃ごみ	合計
		家庭	事業系	合計		
可燃系資源	紙類	15,077	881	15,958	19	15,976
	布類	8,016		8,016	0	8,016
	ペットボトル	705	28	734	2	736
	プラスチック	546		546	0	546
不燃系資源	缶類	111	2	113	57	170
	びん類	177	3	180	162	342
	拠点回収対象小型家電	32		32	124	156
可燃物	生ごみ	39,301	1,092	40,393	34	40,427
	紙類	6,177	294	6,471	20	6,491
	布類		50	50		50
	木・草類	10,043	246	10,289	0	10,289
	容器包装プラスチック	18,987	440	19,427	49	19,476
	製品プラスチック	5,474	164	5,638	185	5,823
	ゴム・皮革類	1,788	84	1,872	16	1,888
	その他可燃物	36,587	889	37,476	62	37,537
不燃物	金属	369	13	382	1,406	1,788
	乾電池	24	1	25	191	216
	ガラス製品	62	2	64	590	654
	陶磁器	39	0	40	1,046	1,085
	小型家電・充電式電池	153	7	159	695	854
	傘	0	3	3	180	183
	蛍光灯	0	0	0	58	58
	電球	0	0	0	18	19
その他不燃物		127	1	128	269	397
排出禁止物		1,568	24	1,593	28	1,621
外袋		1,651	33	1,684	42	1,726
可燃系資源		24,344	909	25,253	21	25,274
不燃系資源		320	5	326	343	669
可燃物		118,357	3,258	121,615	366	121,981
不燃物		775	28	802	4,453	5,256
排出禁止物		1,568	24	1,593	28	1,621
外袋		1,651	33	1,684	42	1,726
合計		147,016	4,257	151,273	5,253	156,526

世田谷区家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書
(令和 8 年度版)

令和 8 年 8 月発行

〒156-0056 世田谷区八幡山 2 - 7 - 1
電話：03-6304-3297
FAX：03-6304-3341

世田谷区ホームページ
<https://www.city.setagaya.lg.jp>

ごみ・リサイクルの情報は

[目次から探す](#) → [くらし・手続き](#) → [ごみ・リサイクル](#)

調査委託先

株式会社杉山・栗原環境事務所
〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-942
電話：03-6704-5039